

第5回川崎市地域福祉実態調査（令和元年度調査）

結果概要

幸区版

目次

■調査の目的	- 1 -
■調査の設計	- 1 -
■概要を利用するにあたって	- 1 -
1. 回答者の基本属性	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について	- 8 -
3. 近隣地域とその課題について	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について	- 24 -
5. 保健・福祉に関することについて	- 29 -
6. 東日本大震災後の意識の変化について	- 32 -
7. 今後の地域福祉の推進について	- 36 -
8. 自由回答のまとめ	- 41 -
資料 アンケート調査票	- 59 -

調査の結果

■調査の目的

本調査は、川崎市地域福祉計画に基づいて、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第6期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

■調査の設計

【調査対象者】

市内在住の20歳以上の男女（外国人を含む）各区900人、全市6,300人

【調査時期】

令和元年11月28日～令和元年12月20日

【抽出方法】

住民基本台帳及び外国人登録から無作為抽出

【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・東日本大震災後の意識の変化について
- ・今後の地域福祉の推進について

■概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

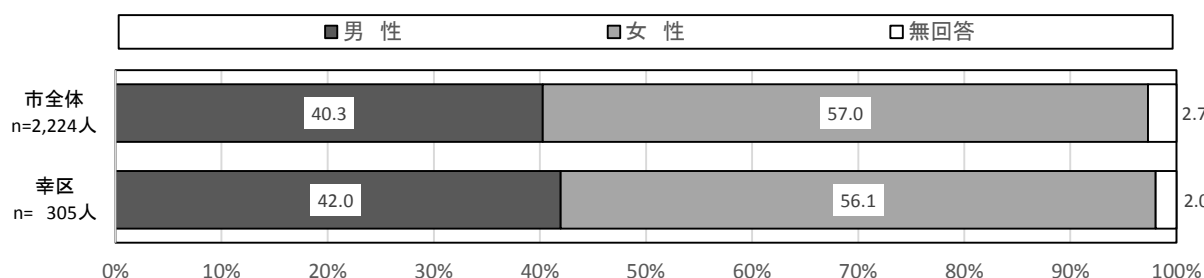
【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	900	900	900	900	900	900	900	-	6,300
有効回収数（人）	278	305	315	293	323	315	368	27	2,224
有効回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%
（参考） 第4回回収率	34.1%	40.4%	36.4%	35.4%	41.8%	34.1%	43.5%	-	37.9%

1. 回答者の基本属性

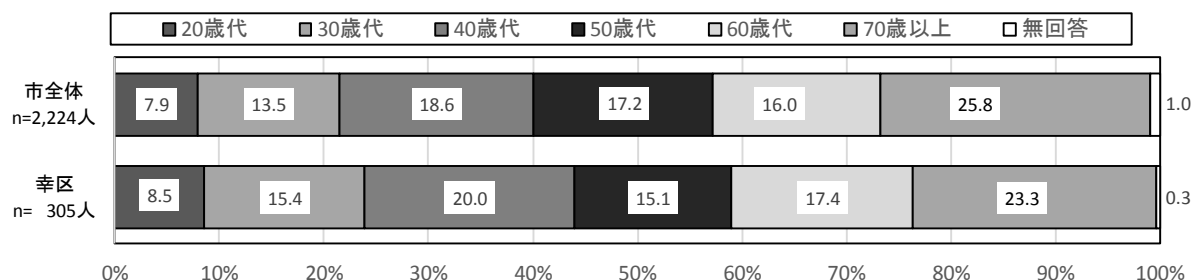
問1 性別を教えてください。(1つに○)

幸区では、男性が42.0%、女性が56.1%となっている。



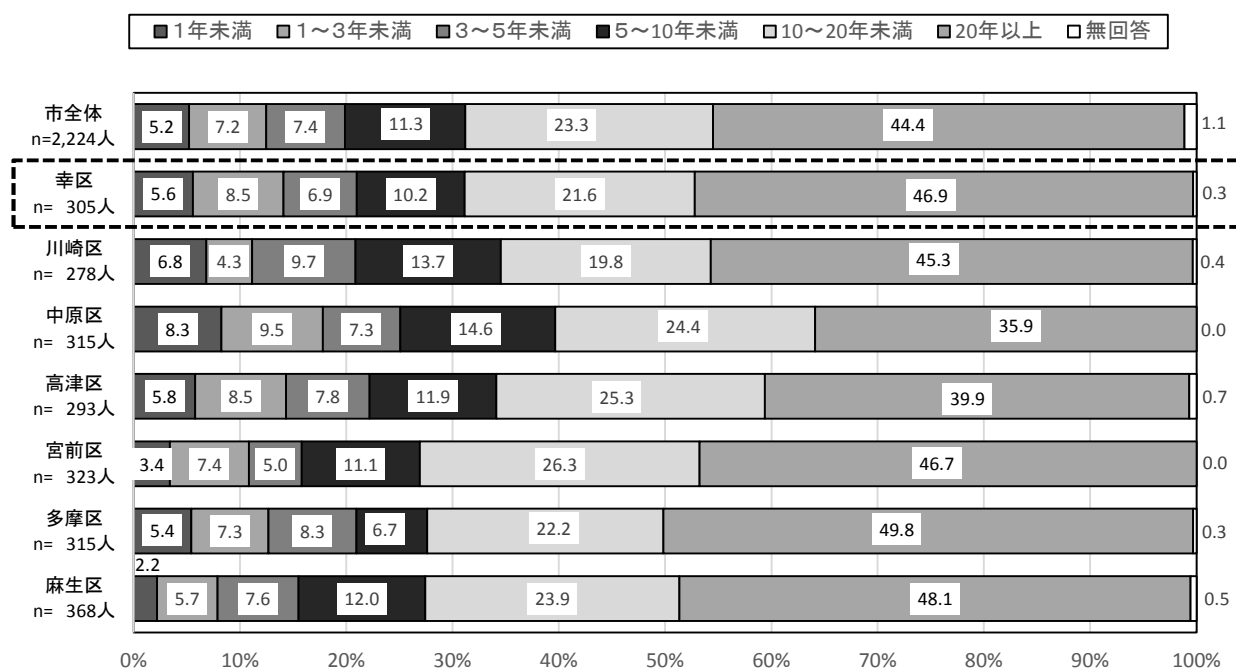
問2 現在の年齢は満何歳ですか。(1つに○)

幸区では、70歳以上が23.3%で最も高く、次いで40歳代(20.0%)、60歳代(17.4%)となっている。



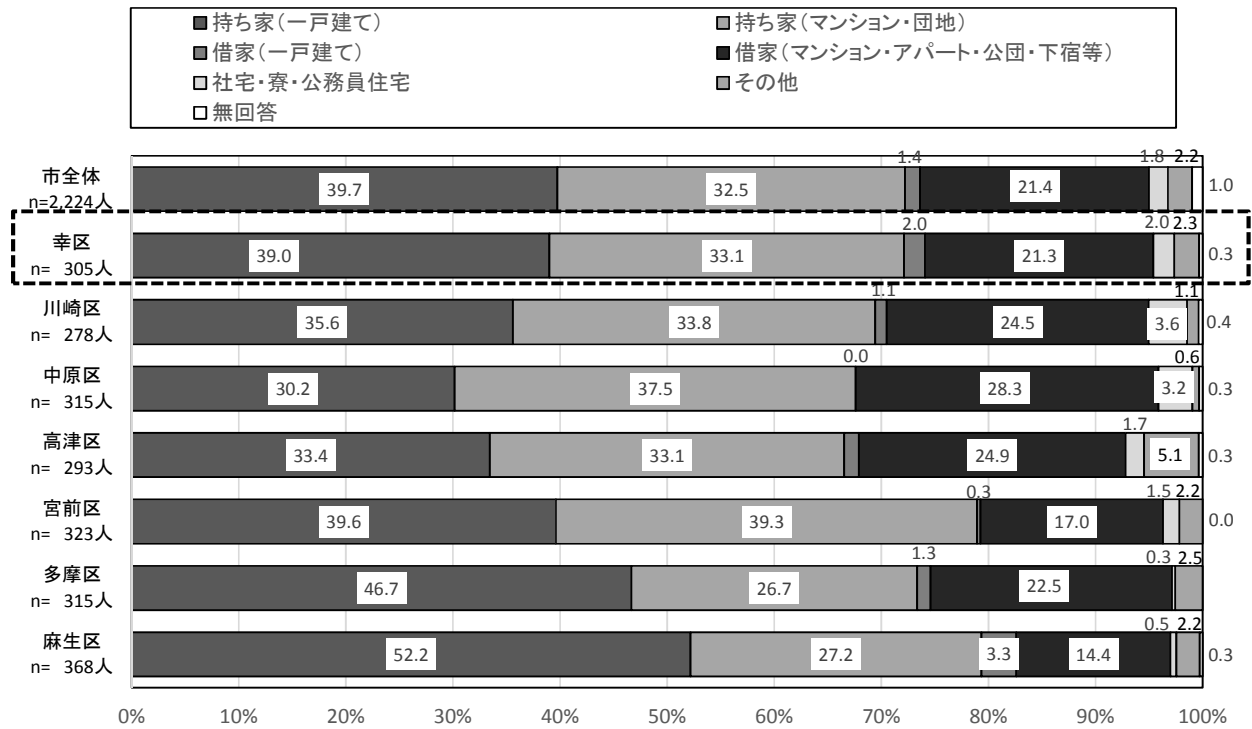
問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(1つに○)

幸区では、20年以上が46.9%で最も高く、次いで10~20年未満(21.6%)、5~10年未満(10.2%)となっている。市内6区と比較すると、20年以上の割合が46.9%で、多摩区(49.8%)、麻生区(48.1%)に次いで3番目に高くなっている。



問6 現在お住まいの形態を教えてください。(1つに○)

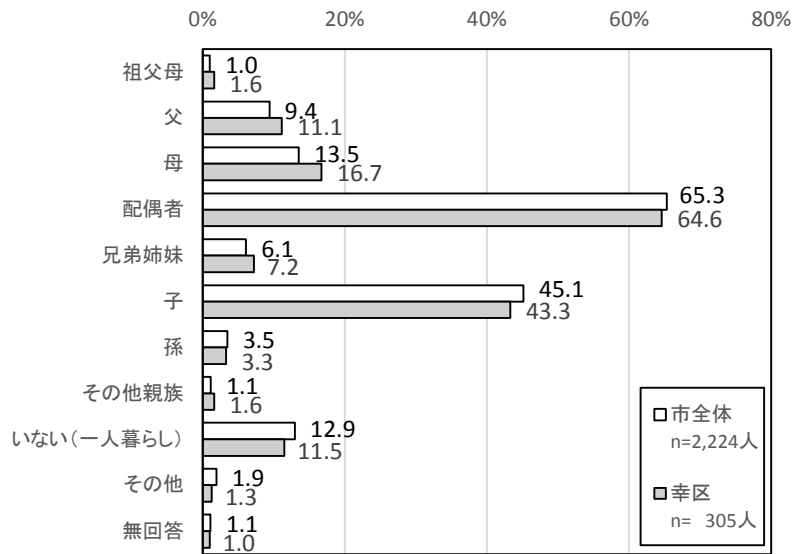
幸区では、持ち家（一戸建て）の割合が39.0%で最も高く、次いで、持ち家（マンション・団地）（33.1%）、借家（マンション・アパート・公団・下宿等）（21.3%）となっている。市内6区と比較すると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション・団地）を合わせた持ち家の割合が72.1%で4番目に高くなっている。



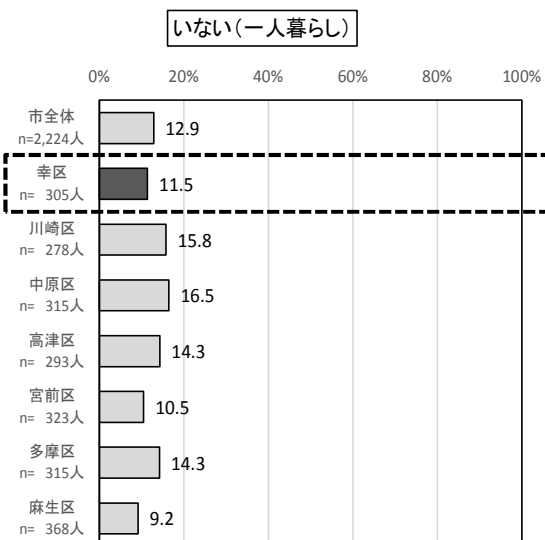
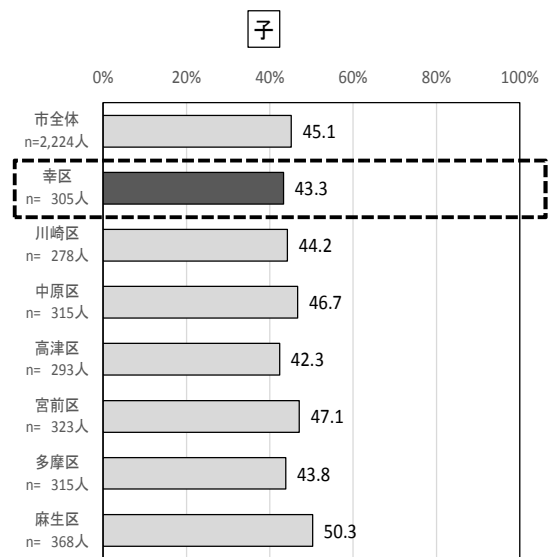
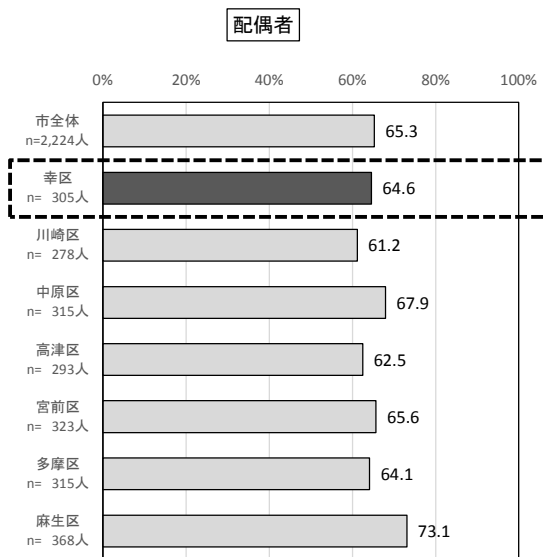
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

幸区では、「配偶者」が64.6%で最も高く、次いで、「子」が43.3%、「母」が16.7%となっている。

市内6区と比較すると、「配偶者」が64.6%で4番目に高い。一方、「子」が43.3%で2番目に低く、「いない(一人暮らし)」が11.5%で3番目に低い。

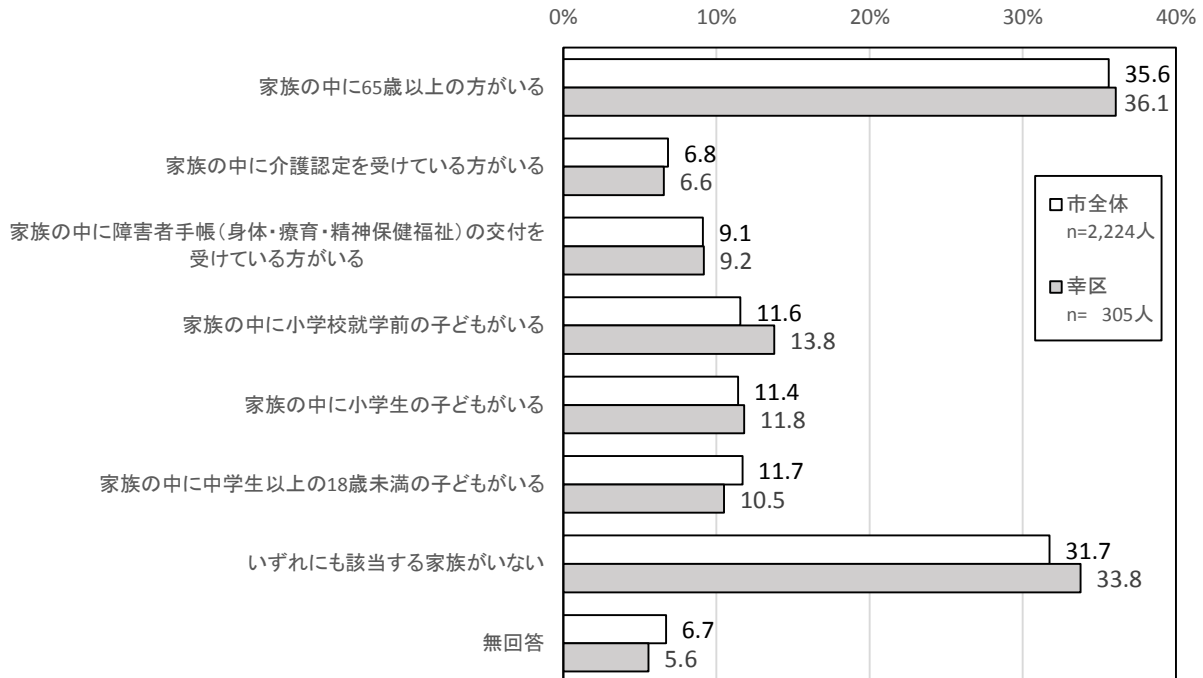


【参考】

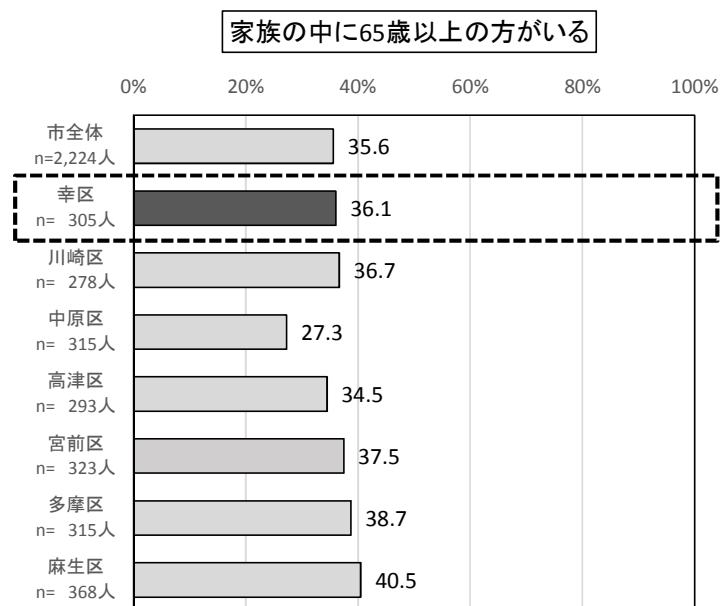


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「家族の中に65歳以上の方がいる」が36.1%で市全体（35.6%）を上回っている。市内6区と比較すると、「家族の中に65歳以上の方がいる」が3番目に低い。



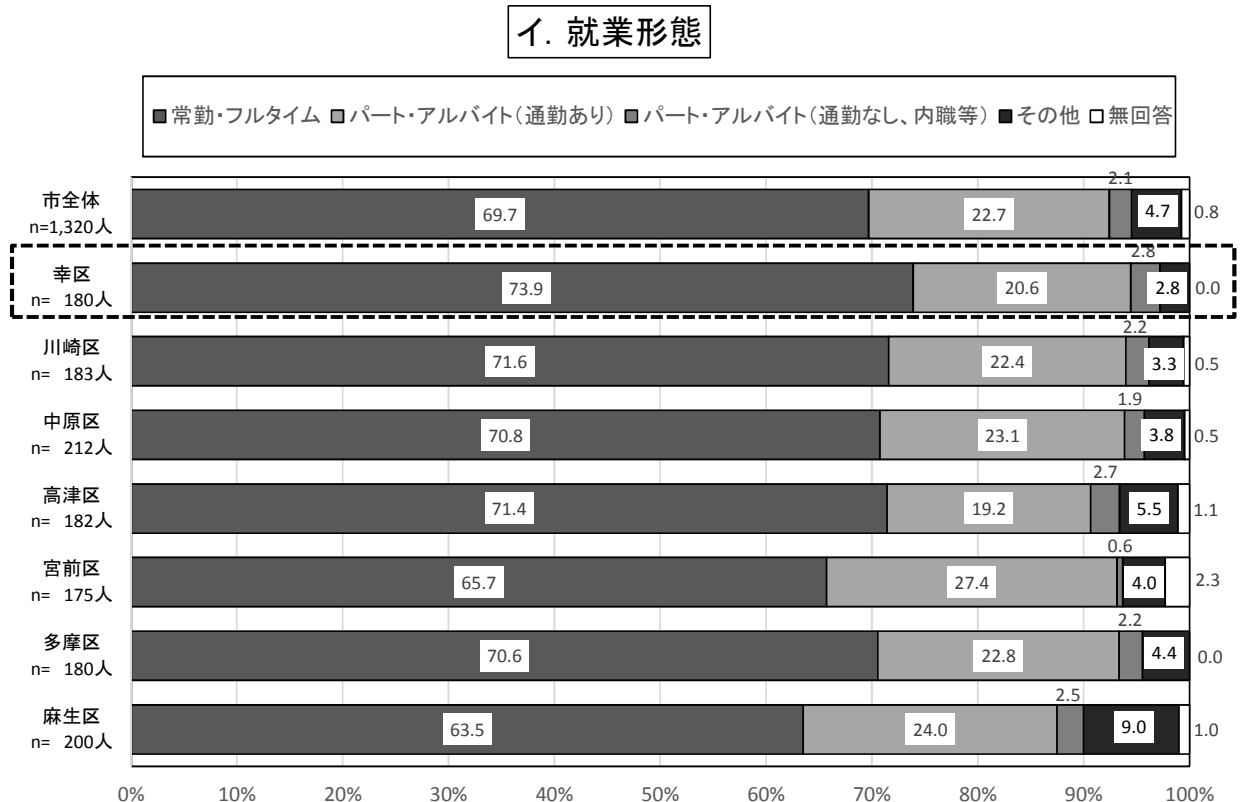
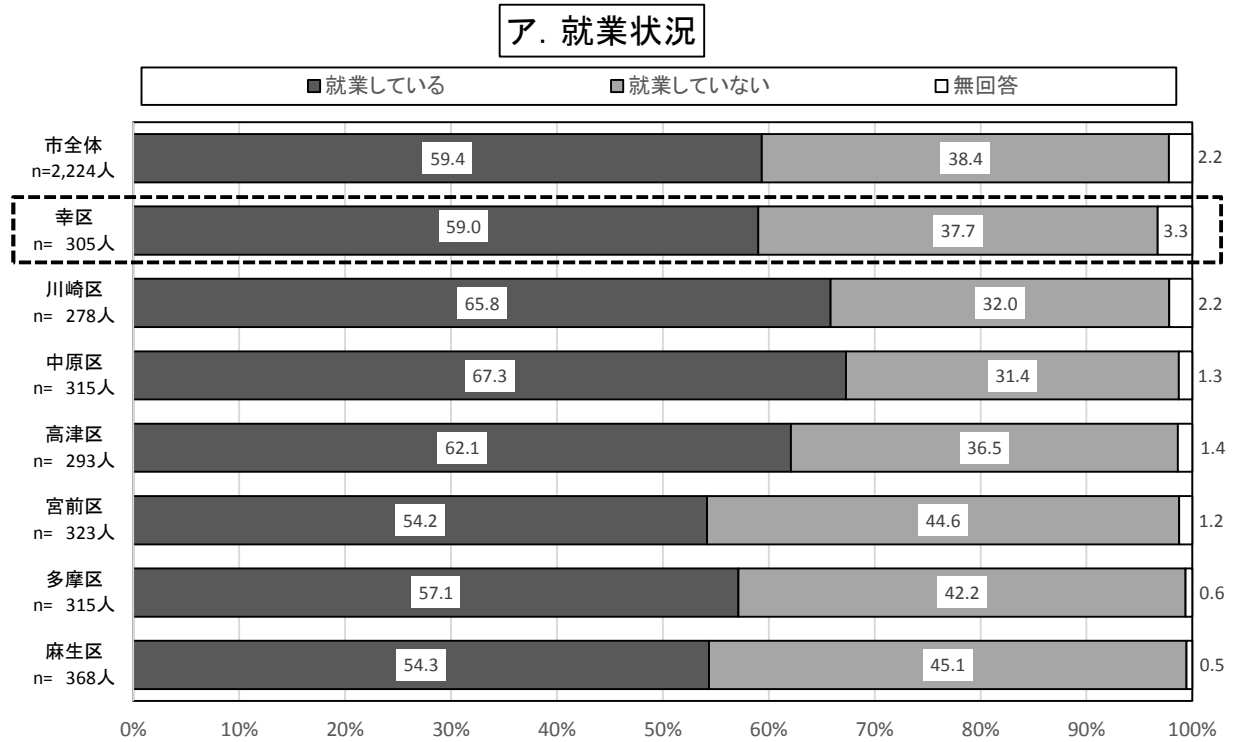
【参考】



問9 就業の状況はどれに該当しますか。(1つに○)

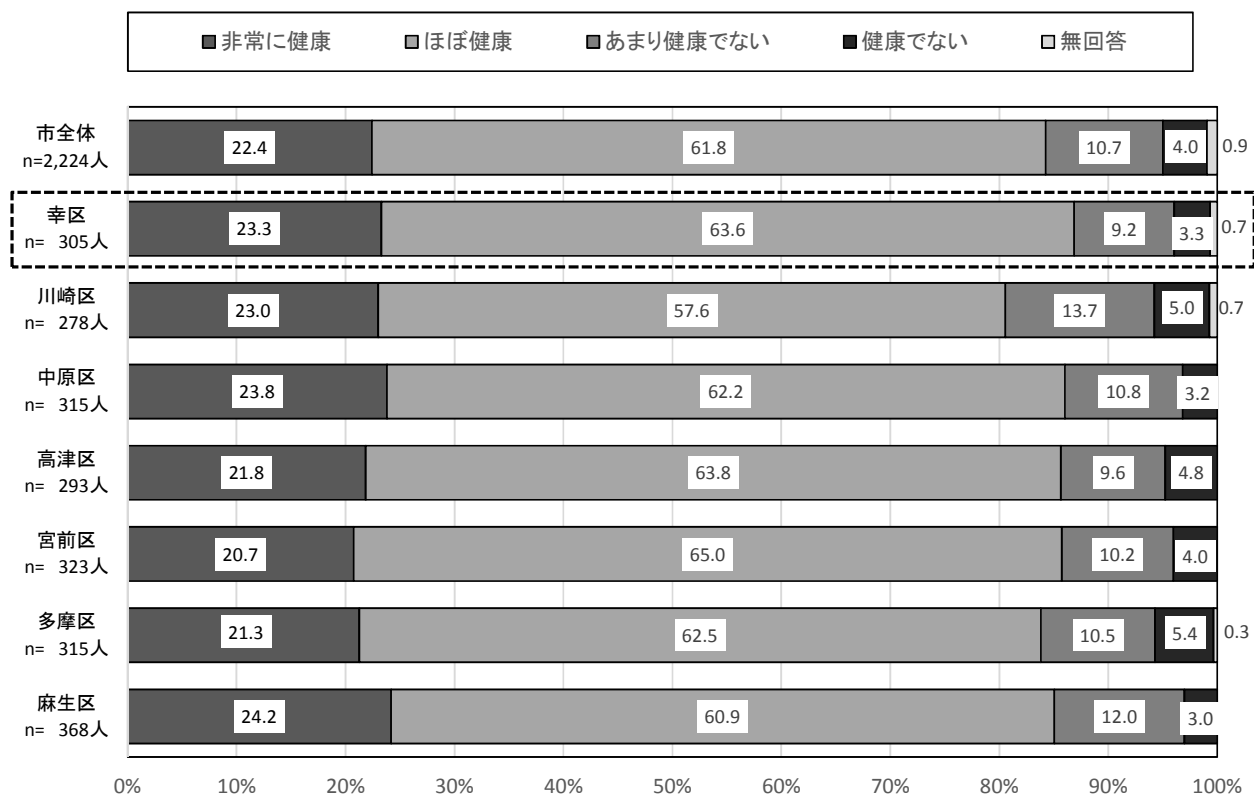
幸区では、就業している割合が59.0%で市全体(59.4%)を下回っている。

就業形態については、常勤・フルタイムが73.9%で市全体(69.7%)を上回っている。市内6区と比較すると、常勤・フルタイムの割合は最も高くなっている。



問10 あなたの健康状態は、いかがですか。（1つに○）

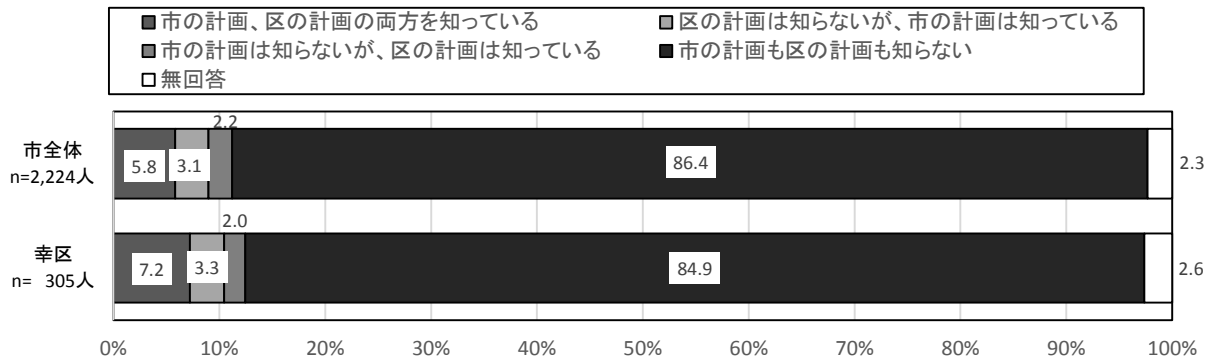
幸区では、健康状態が「ほぼ健康」の方の割合が63.6%で市全体（61.8%）を上回っている。市内6区と比較すると、「ほぼ健康」（63.6%）、「非常に健康」（23.3%）を合わせた割合が86.9%と最も高くなっている。



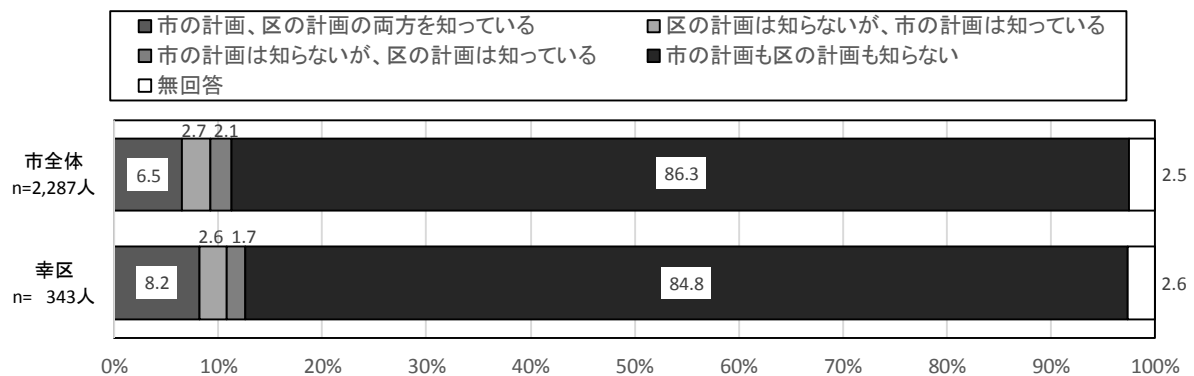
2. 『川崎市地域福祉計画』について

問 12 あなたは、川崎市に『第5期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（1つに○）

幸区では、「両方知らない」割合が84.9%となっている。第4回調査結果と比較すると、「市の計画も区の計画も知らない」割合は、0.1ポイント増加している。



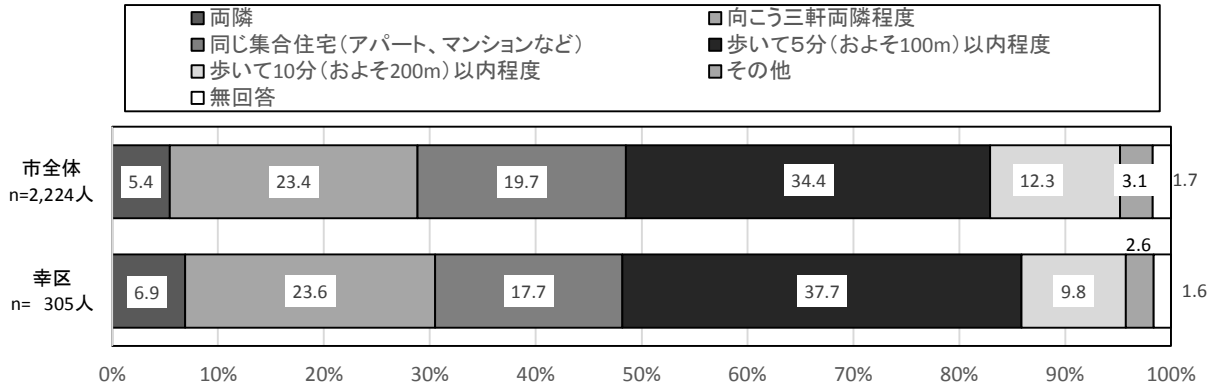
【参考】第4回調査結果



3. 近隣地域とその課題について

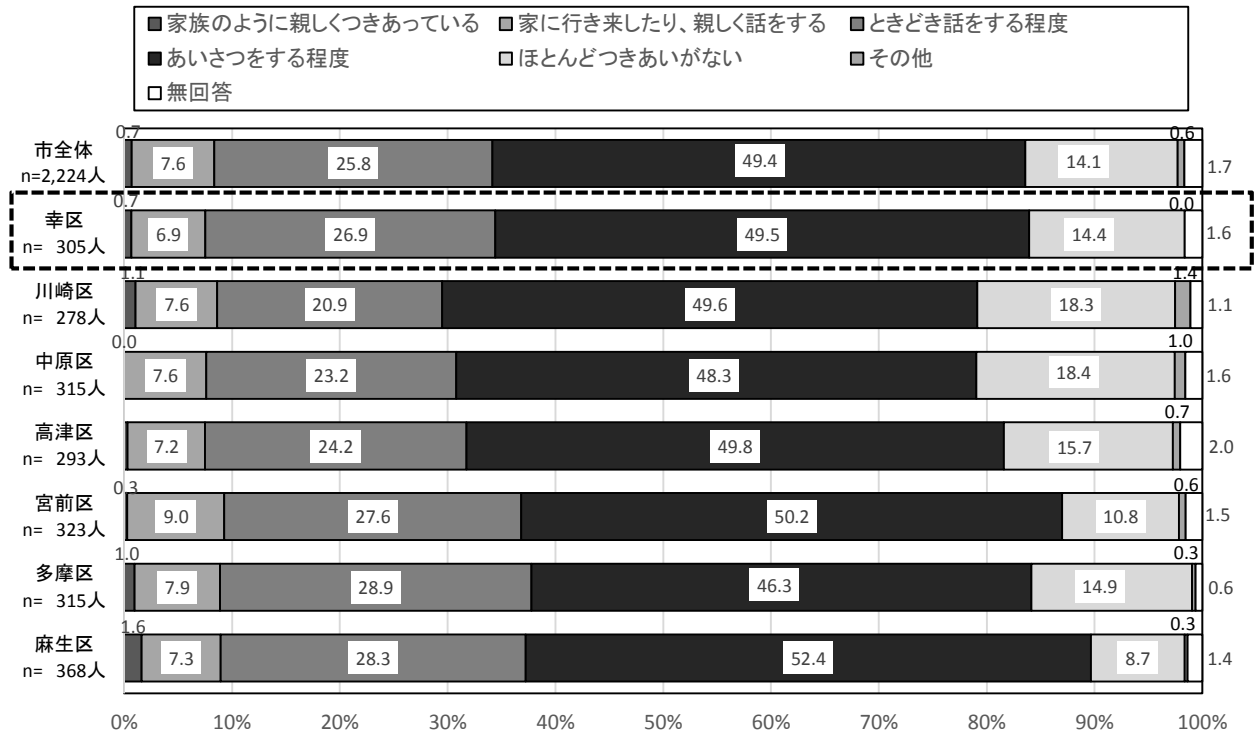
問13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（1つに○）

幸区では、「向こう三軒両隣」の割合が 23.6%で市全体（23.4%）とほぼ同じ値になっている。



問14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（1つに○）

幸区では、「ときどき話をする程度」の割合が 26.9%で市全体（25.8%）を上回っている。市内6区と比較すると、「家に行き来したり、親しく話をする」についての割合は 6.9%で、最も低くなっている。

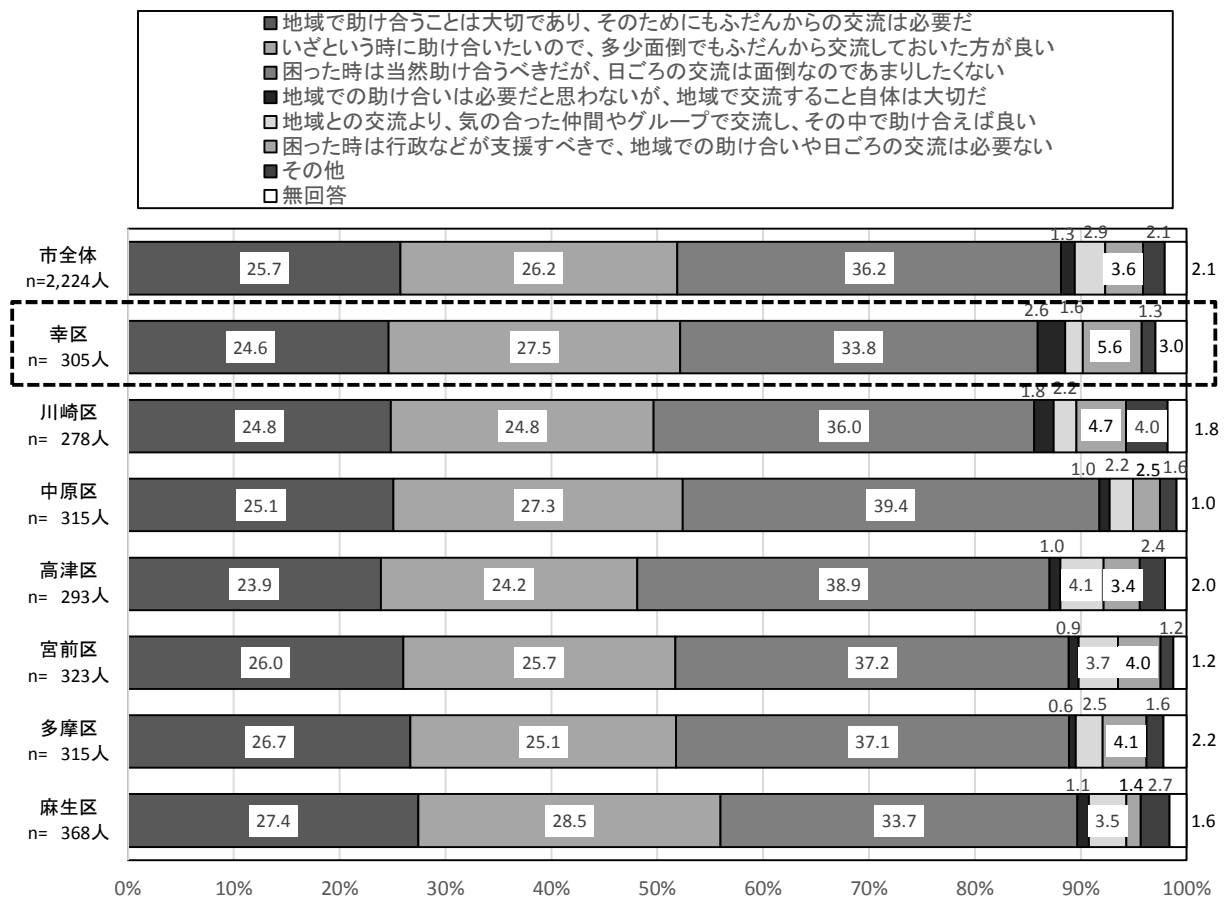


問 15 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。

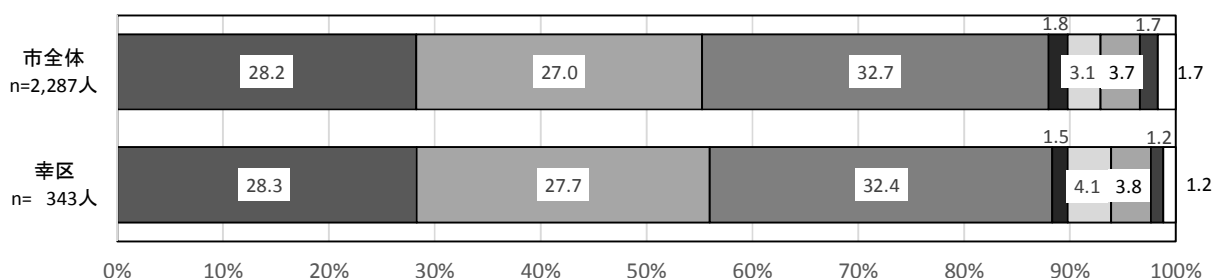
(1つに○)

幸区では、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」の割合が27.5%で市全体(26.2%)を上回っている。市内6区と比較すると、「困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日ごろの交流は必要ない」の割合は5.6%で、最も高くなっている。

また、第4回調査結果と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」の割合が3.7ポイント減少し、「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が1.4ポイント増加している。

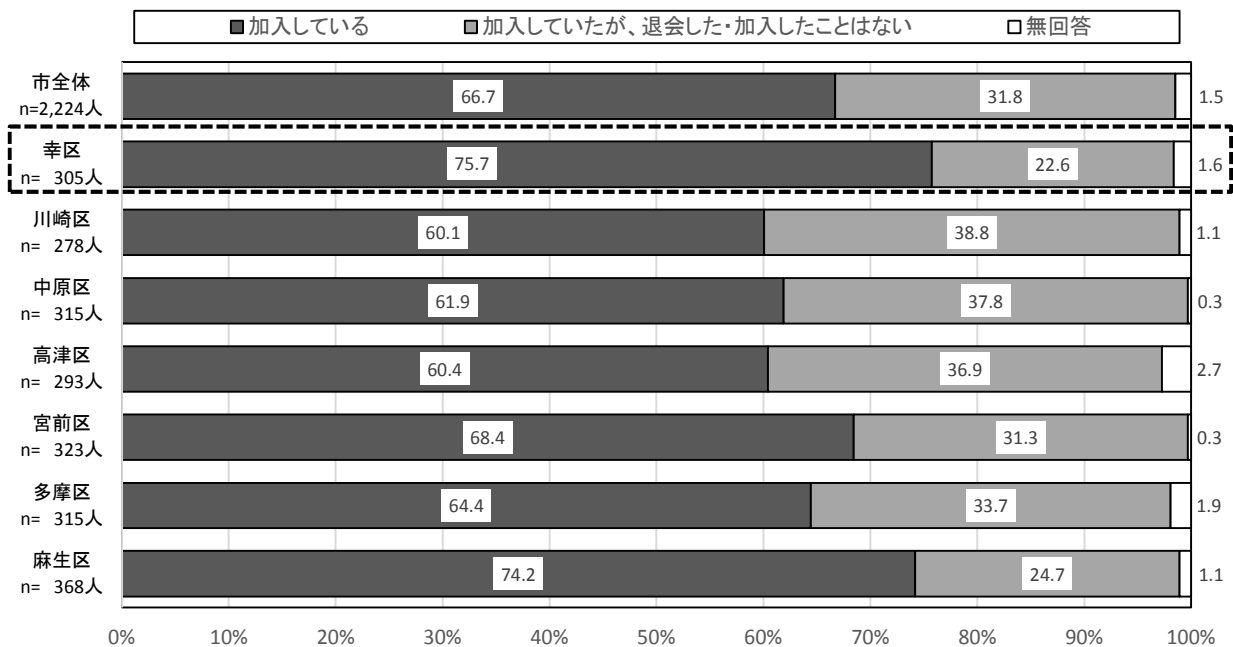


【参考】第4回調査結果



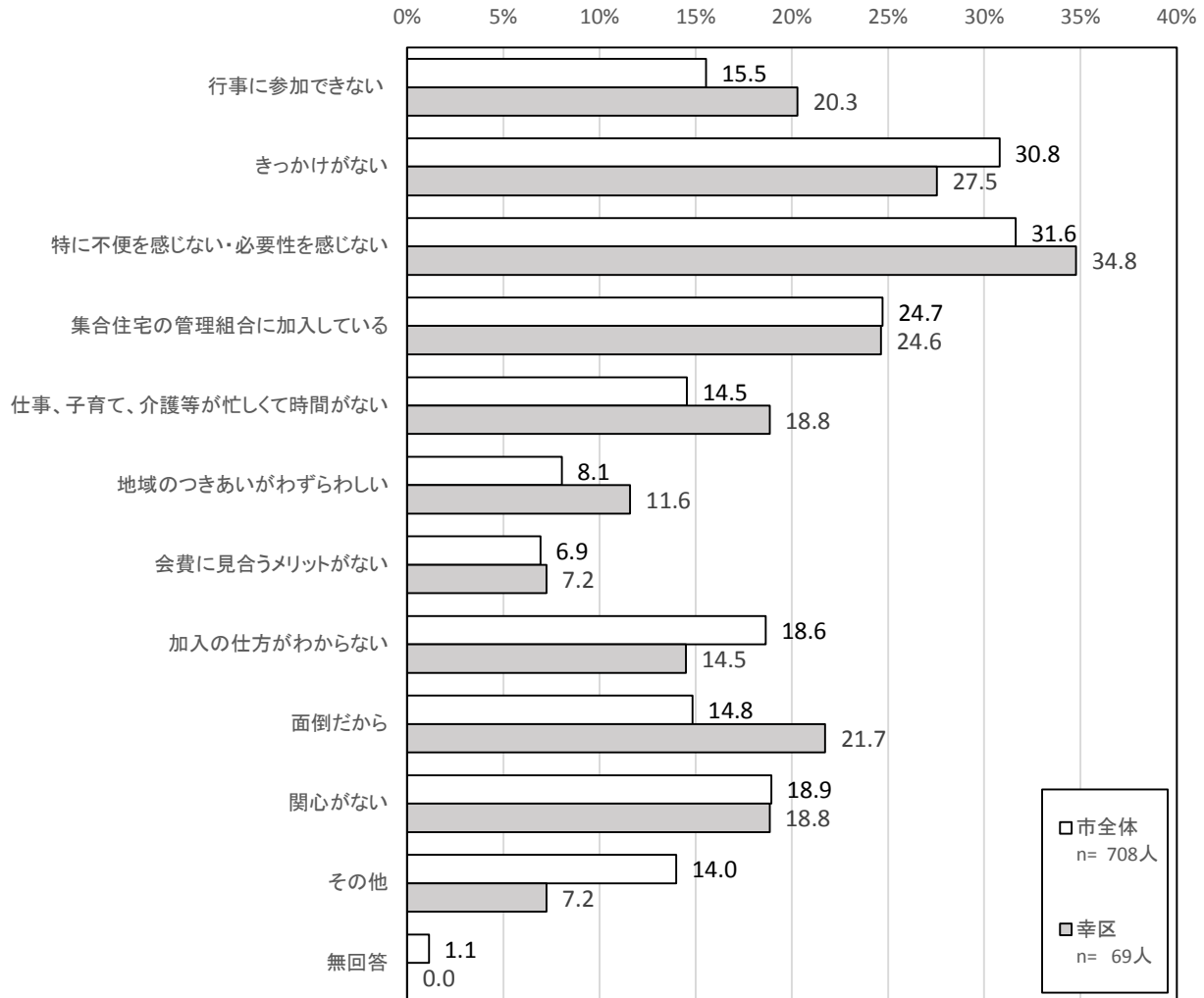
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(1つに○)

幸区では、「加入している」割合が75.7%で市全体(66.7%)を上回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は最も高く、最も低い川崎区(60.1%)とは15.6ポイントの差がある。



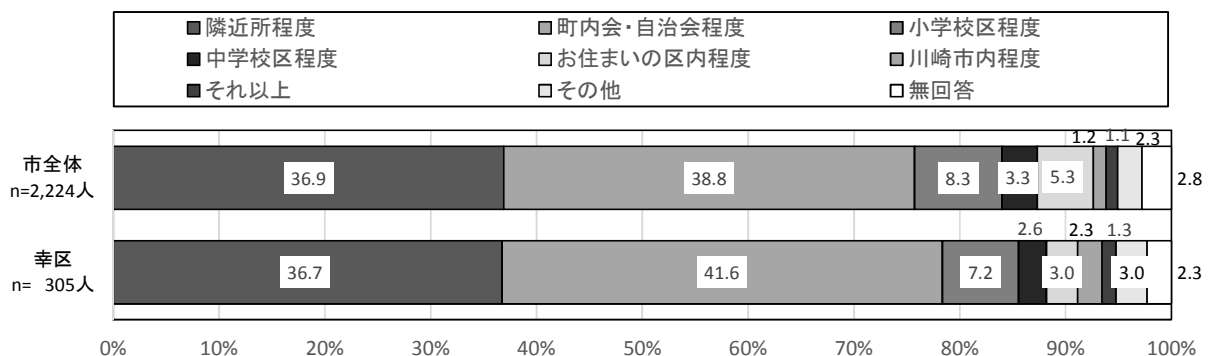
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「特に不便を感じない・必要性を感じない」の割合が 34.8%で最も高く、市全体(31.6%)を上回っている。



問 17 あなたは、助けあいをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（1つに○）

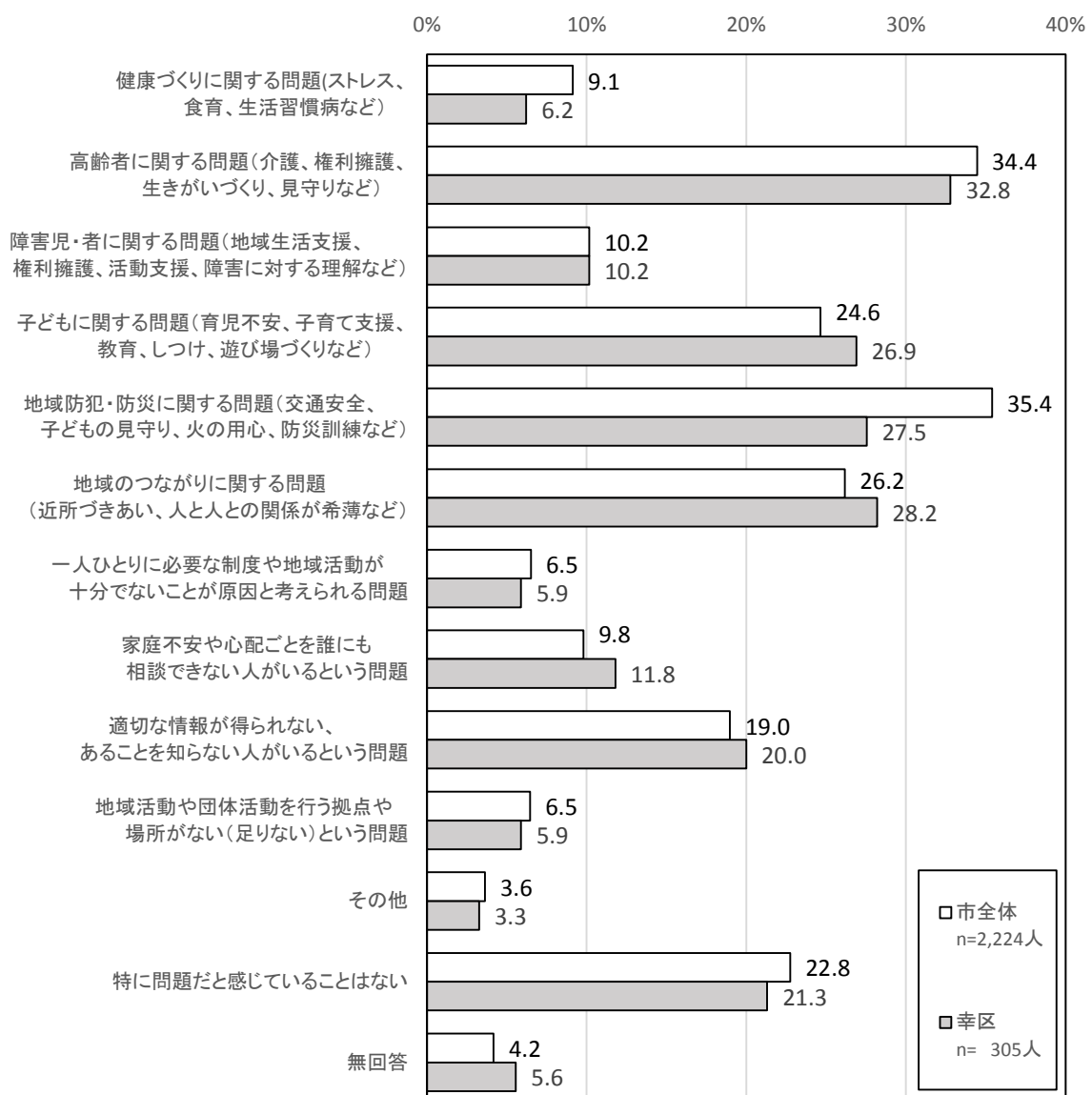
幸区では、「町内会・自治会程度」の割合が 41.6%で最も高く、市全体（38.8%）を上回っている。



問 18 あなたは、その「地域」において、いま何が問題だと感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

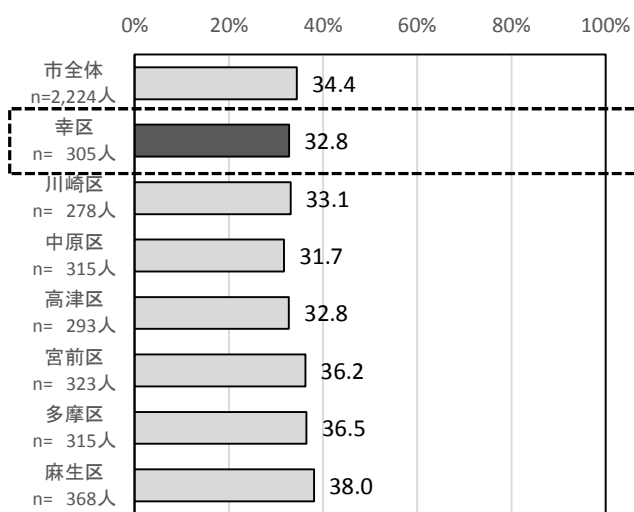
幸区では、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいつくり、見守りなど）」の割合が32.8%で最も高く、次いで「地域のつながりに関する問題（近所づきあい、人と人との関係が希薄など）」（28.2%）、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」（27.5%）となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいつくり、見守りなど）」（32.8%）については2番目に低く、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」については27.5%で最も低くなっている。一方、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題」については3番目に高い。

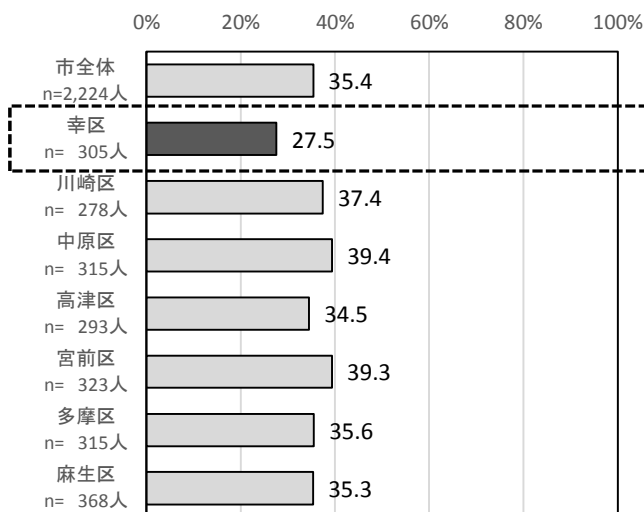


【参考】

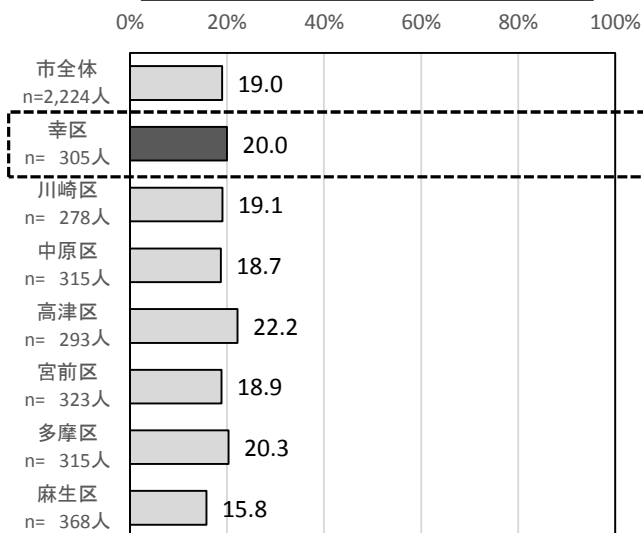
高齢者に関する問題



地域防犯・防災に関する問題

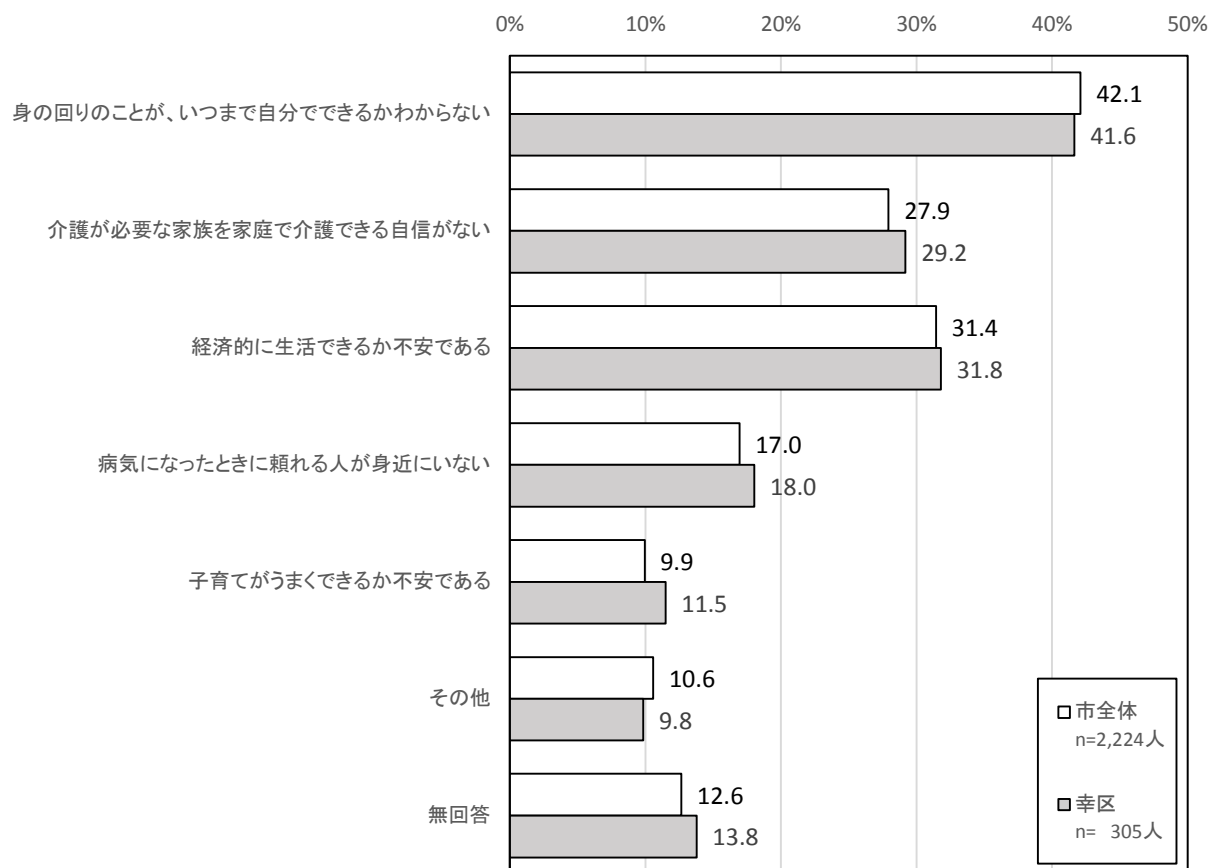


適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題



問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

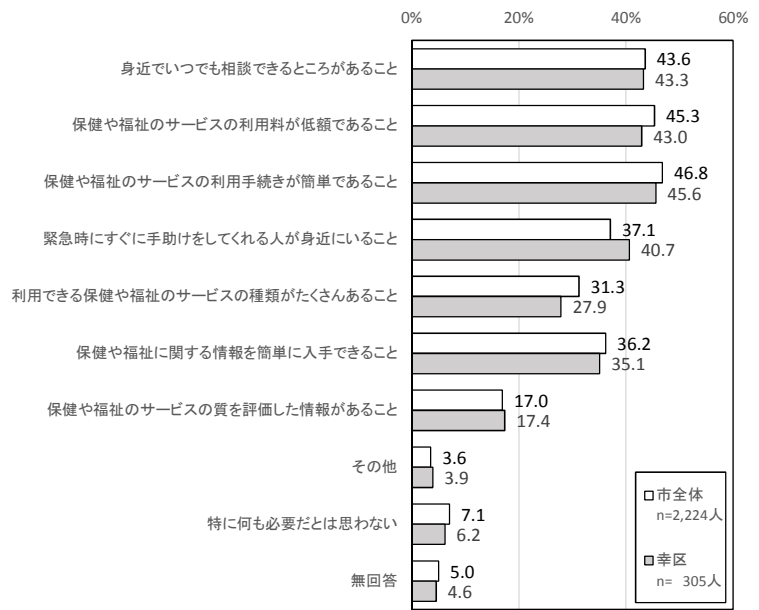
幸区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が41.6%で最も高く、次いで「経済的に生活できるか不安である」（31.8%）、「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」（29.2%）となっている。



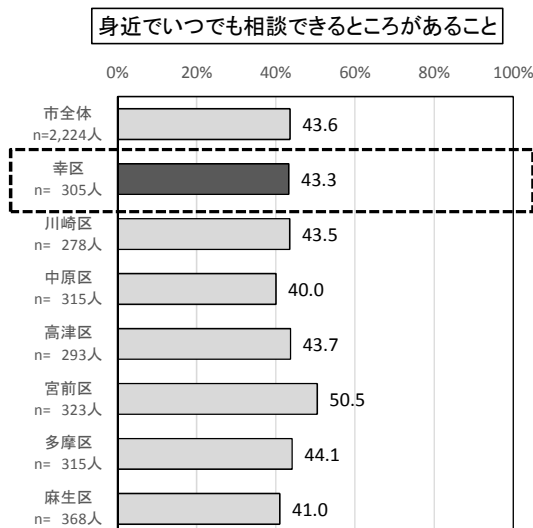
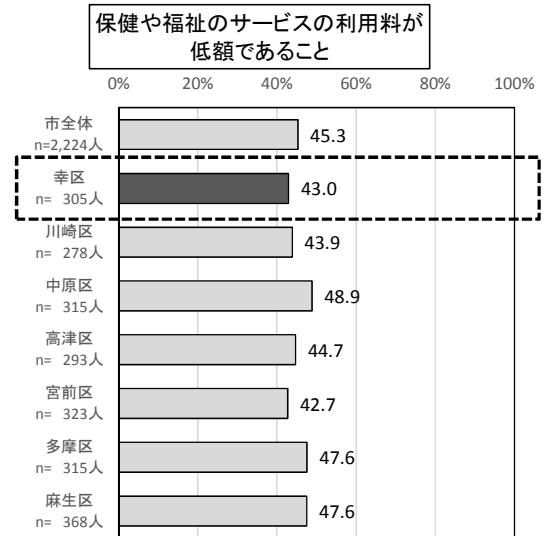
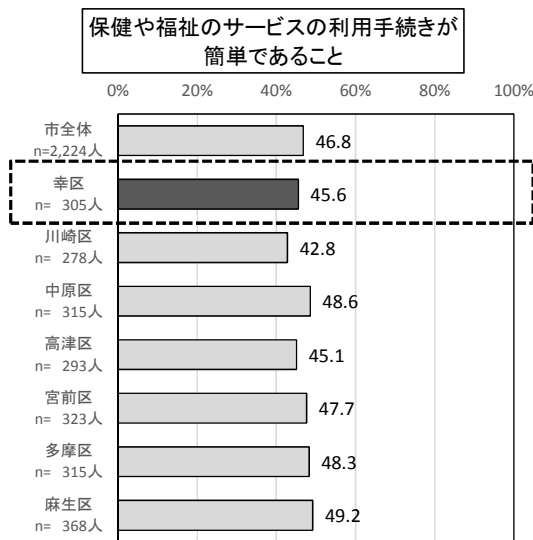
問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」が 45.6% で市全体（46.8%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「保健や福祉サービスの利用手続きが簡単であること」は3番目に低く、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」は43.0%で2番目に低く、「身近でいつでも相談できるところがあること」は43.3%で3番目に低くなっている。



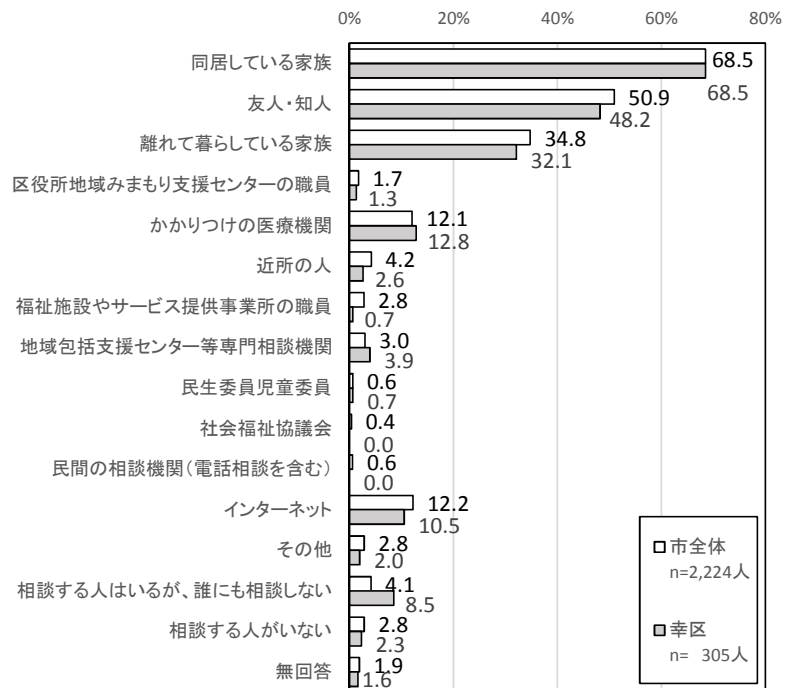
【参考】



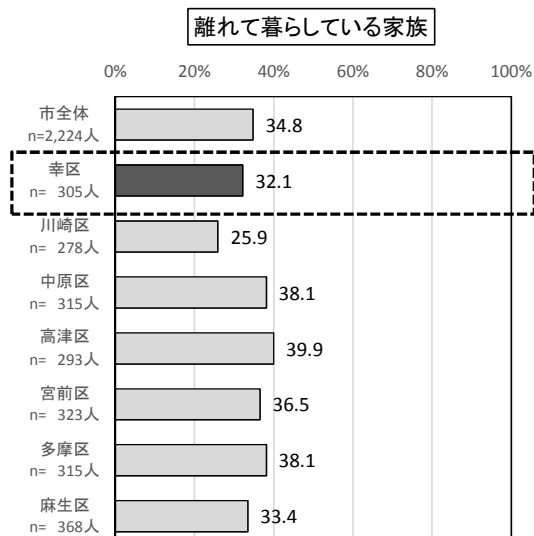
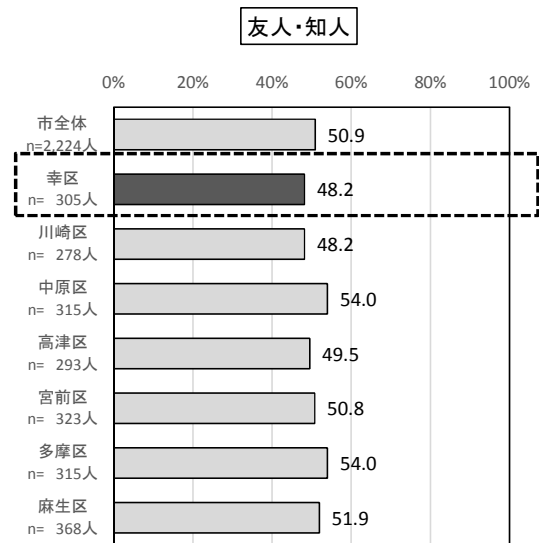
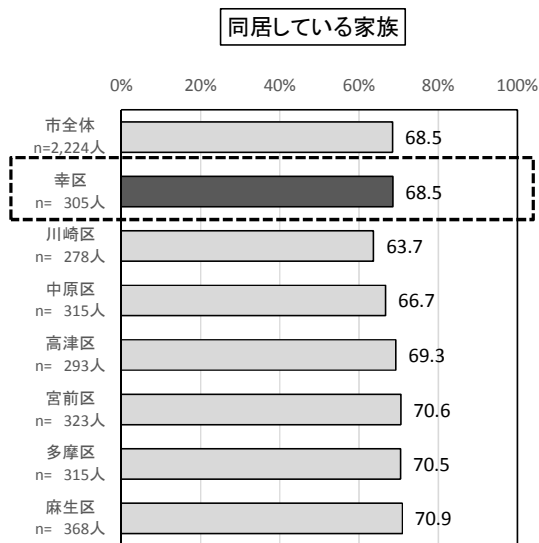
問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「同居している家族」が 68.5% で市全体（68.5%）と同じ値である。

市内 6 区と比較すると、「同居している家族」が 68.5% と 3 番目に低く、「友人・知人」が 48.2% と最も低く、「離れて暮らしている家族」が 32.1% で 2 番目に低くなっている。



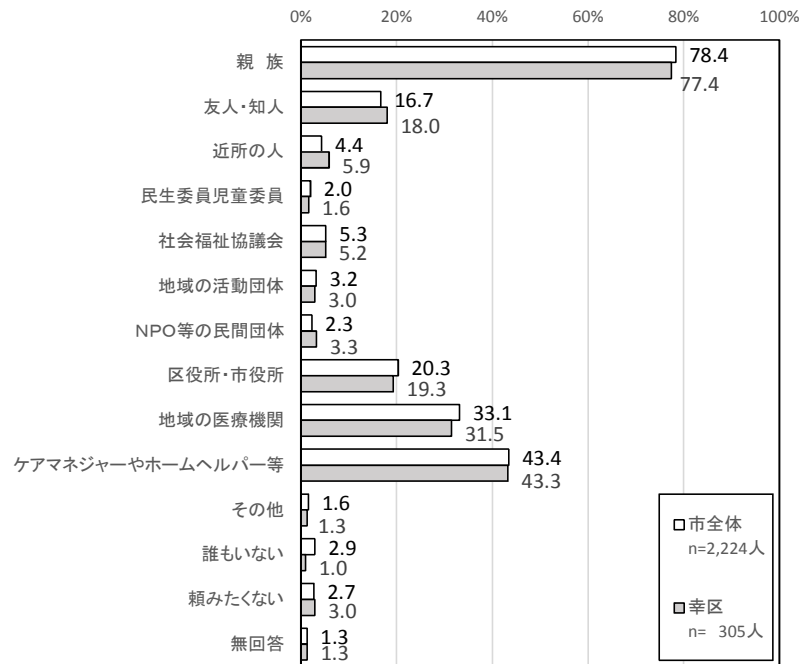
【参考】



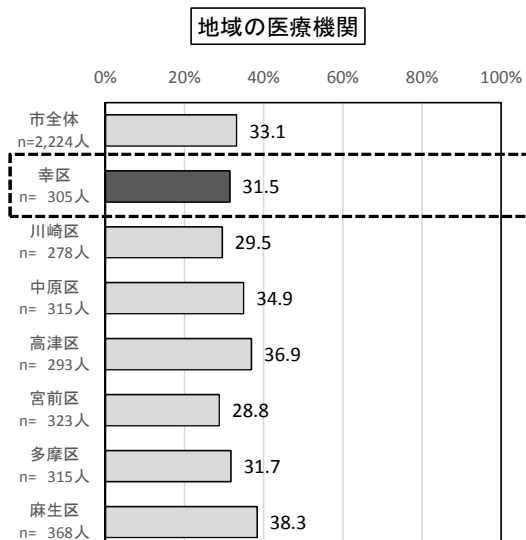
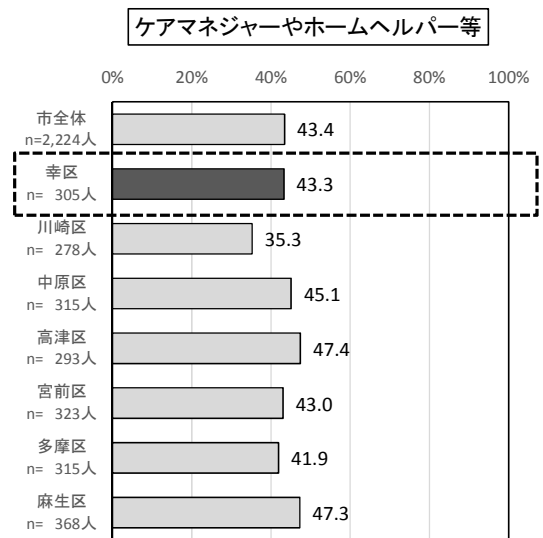
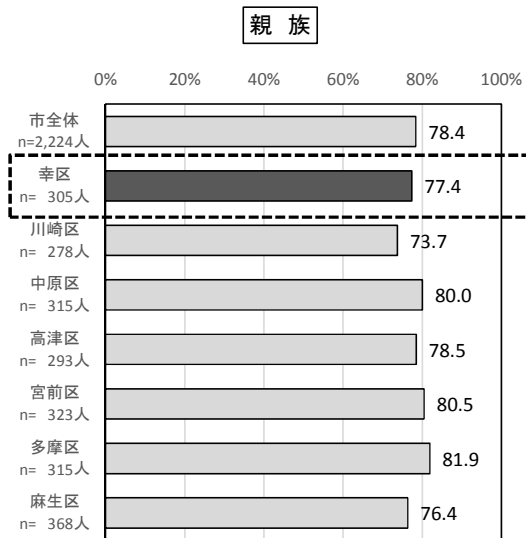
問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（3つまでに○）

幸区では、「親族」は77.4%で市全体（78.4%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「親族」は77.4%と3番目に低く、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」は43.3%と4番目に低く、「地域の医療機関」は31.5%と3番目に低くなっている。



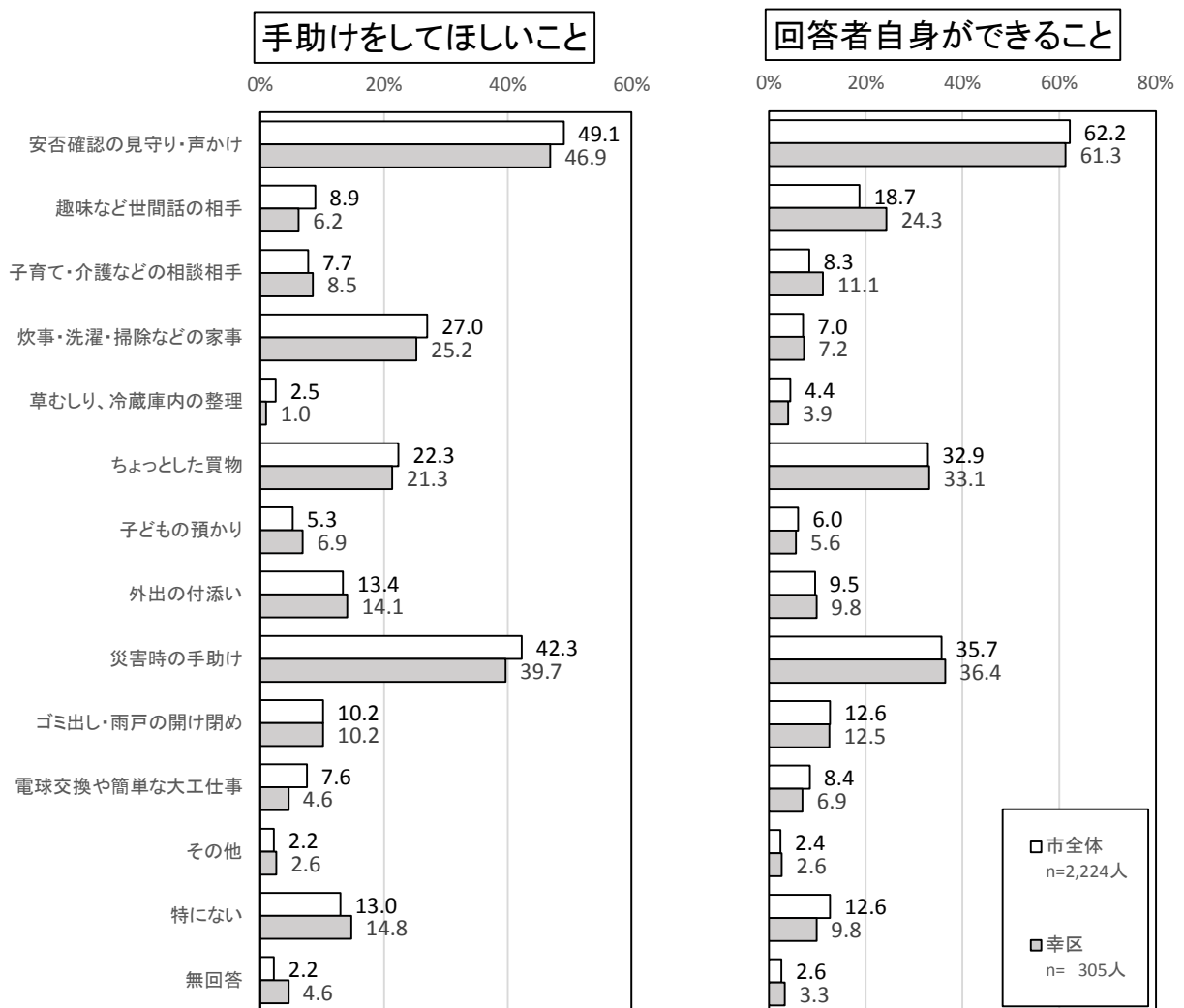
【参考】



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（3つまでに○）

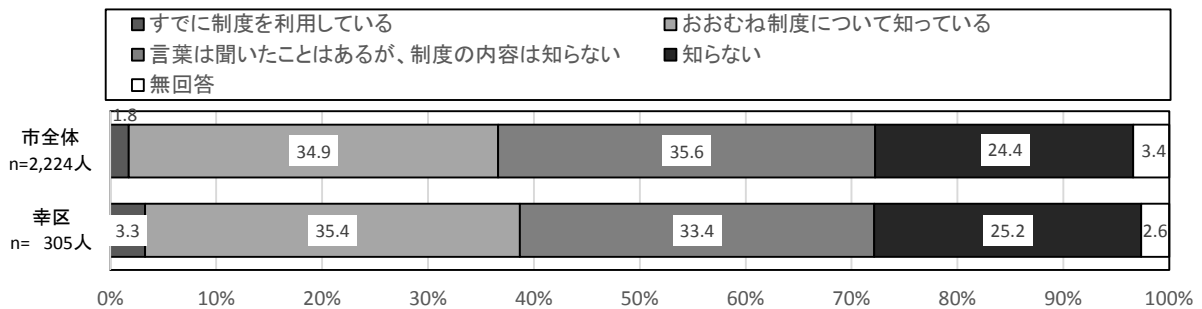
問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（3つまでに○）

幸区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が46.9%で最も高く、次いで「災害時の手助け」（39.7%）、「炊事・洗濯・掃除などの家事」（25.2%）となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が61.3%で最も高く、次いで「災害時の手助け」（36.4%）、「ちょっとした買い物」（33.1%）となっている。



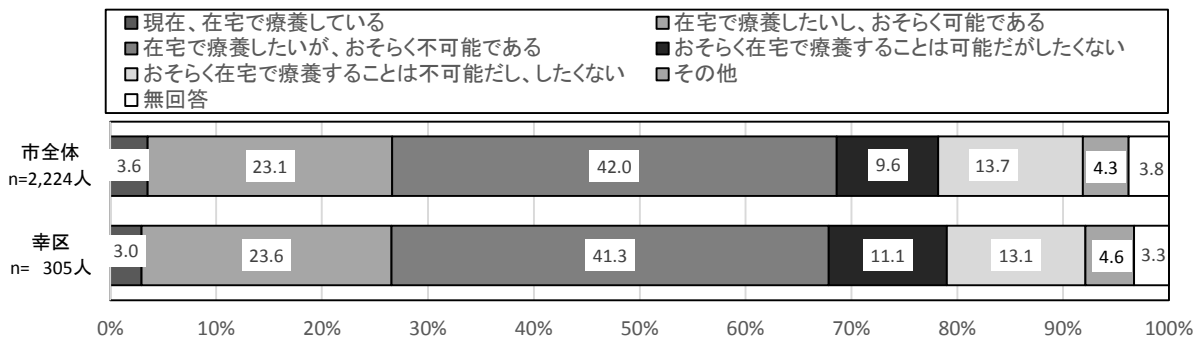
問 26 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○) (新規設問)

幸区では、「おおむね制度について知っている」の割合が35.4%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」(33.4%)、「知らない」(25.2%)となっている。



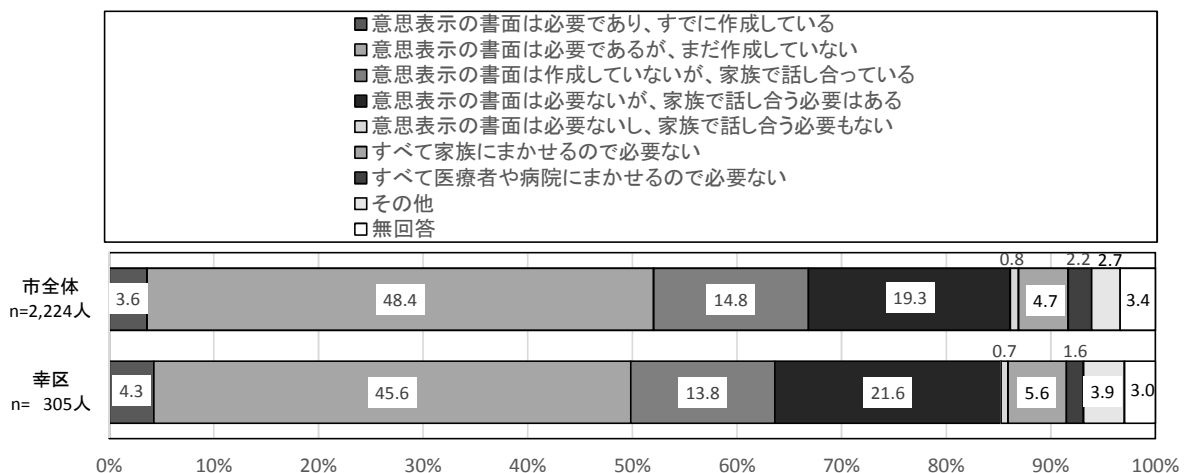
問 27 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合に、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。(1つに○) (新規設問)

幸区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が41.3%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」(23.6%)、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」(13.1%)となっている。



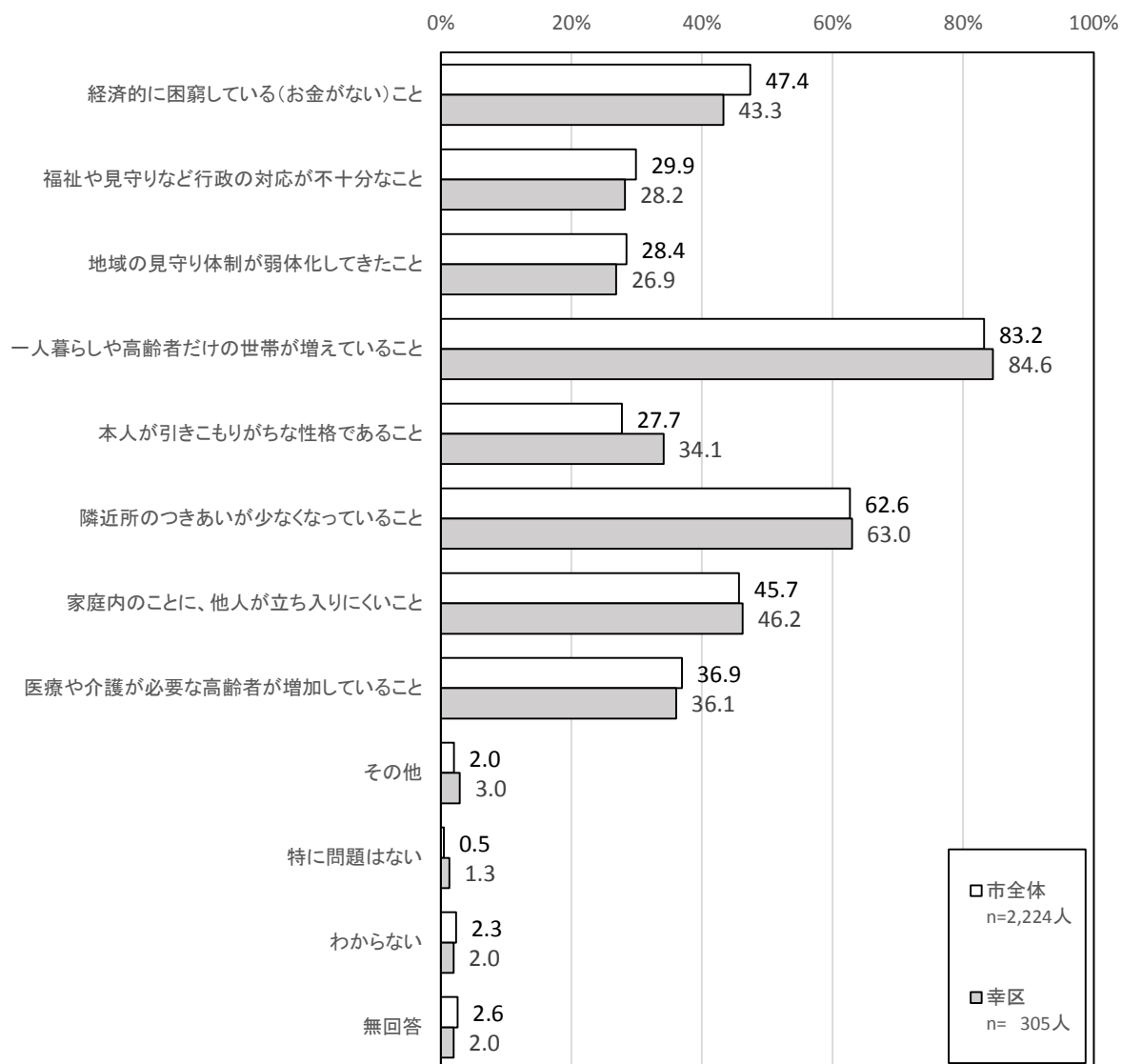
問 28 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。(1つに○) (新規設問)

幸区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が45.6%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」(21.6%)、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」(13.8%)となっている。



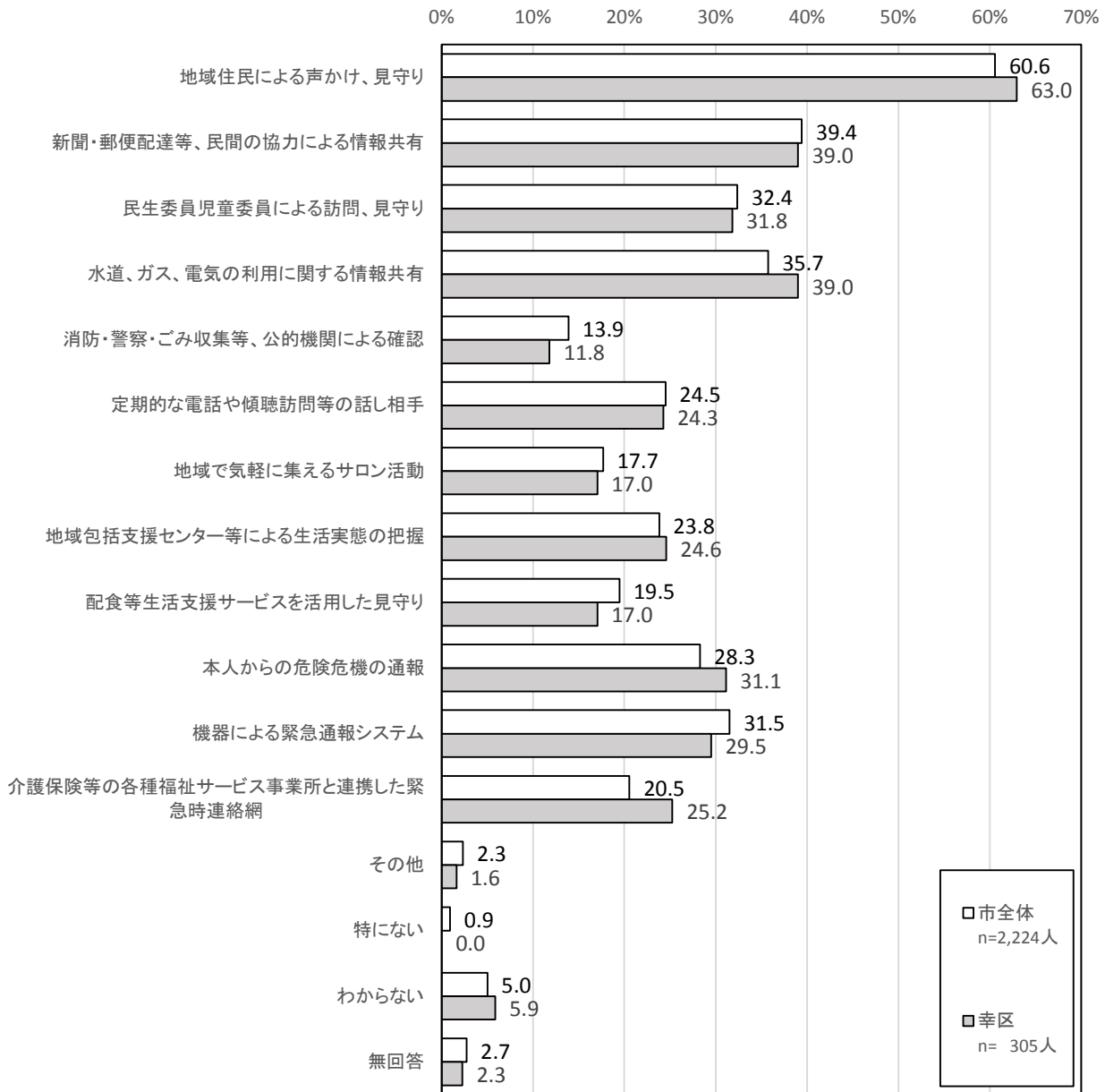
問 29 近年、誰にも気づかれずに死亡し、しばらくして発見されるという孤立死が社会問題となっています。孤立死が生じる原因として、どれが大きな問題だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えていること」の割合が84.6%で最も高く、次いで「隣近所のつきあいが少なくなっていること」（63.0%）、「家庭内のことに、他人が立ち入りにくいこと」（46.2%）となっている。



問 30 孤立死を防ぐために、どのようなことが有効だと思いますか。特に有効だと思うものを5つまで選んで○をつけてください。(5つまでに○)

幸区では、「地域住民による声かけ、見守り」の割合が63.0%で最も高く、次いで「新聞・郵便配達等、民間の協力による情報共有」及び「水道、ガス、電気の利用に関する情報共有」が39.0%となっている。

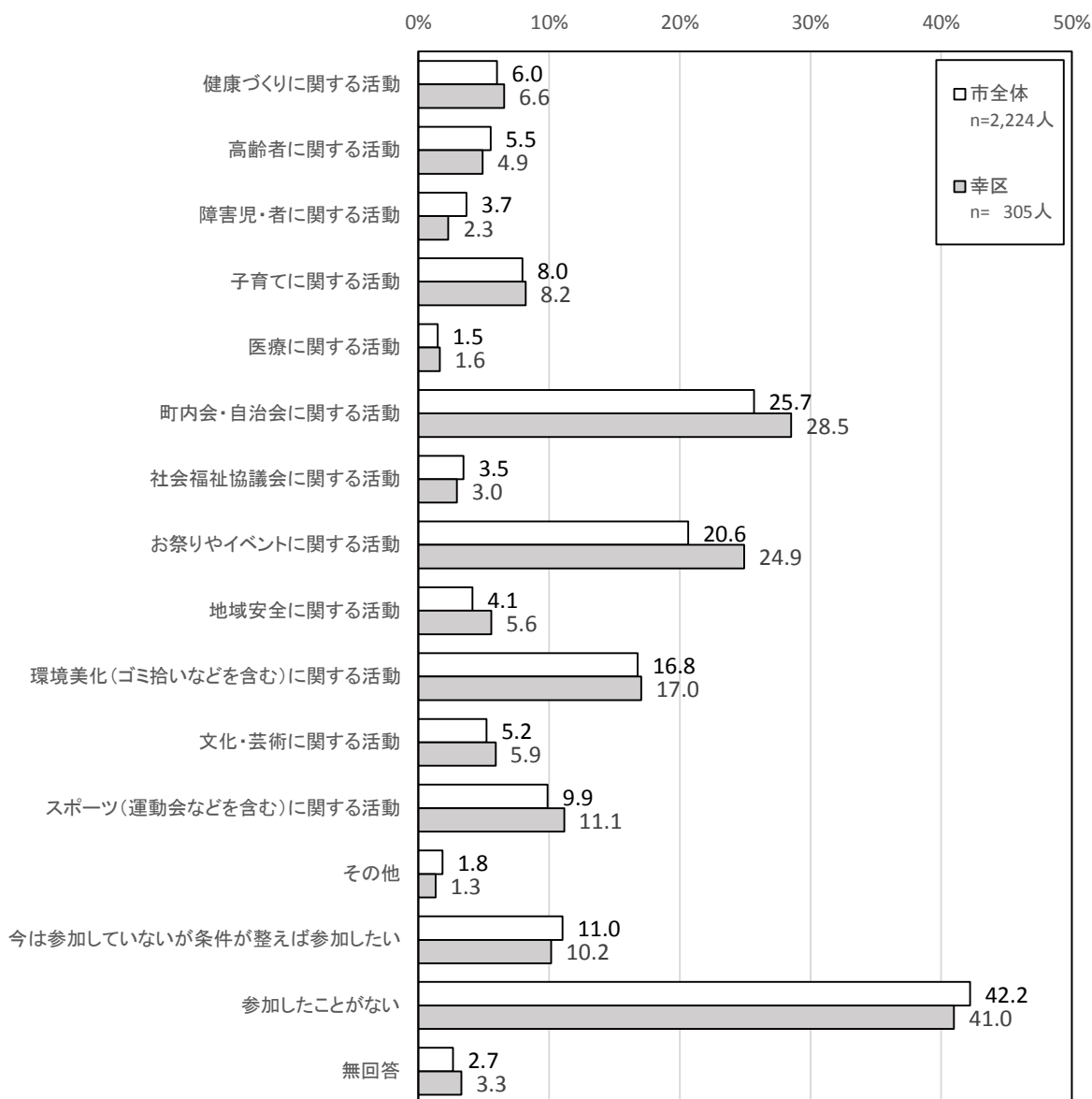


4. 地域活動やボランティア活動について

問 31 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

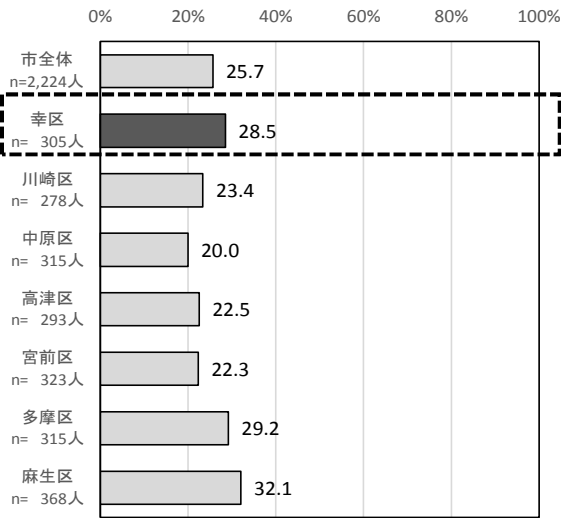
幸区では、「参加したことがない」の割合が41.0%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（28.5%）、「お祭りやイベントに関する活動」（24.9%）となっている。

市内6区と比較すると、「参加したことがない」の割合は41.0%で2番目に低く、「社会福祉協議会に関する活動」（3.0%）で3番目に低い。「町内会・自治会に関する活動」（28.5%）、「環境美化に関する活動」（17.0%）で3番目に高い。

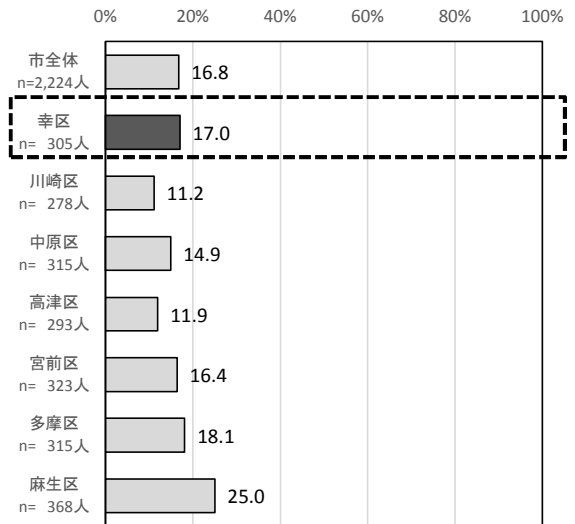


【参考】

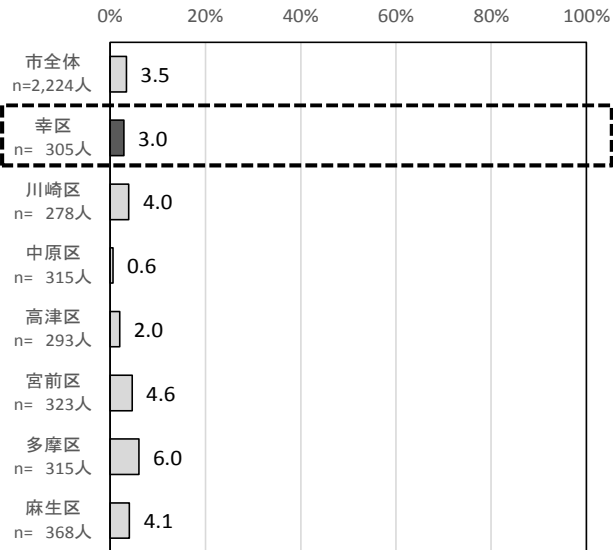
町内会・自治会に関する活動



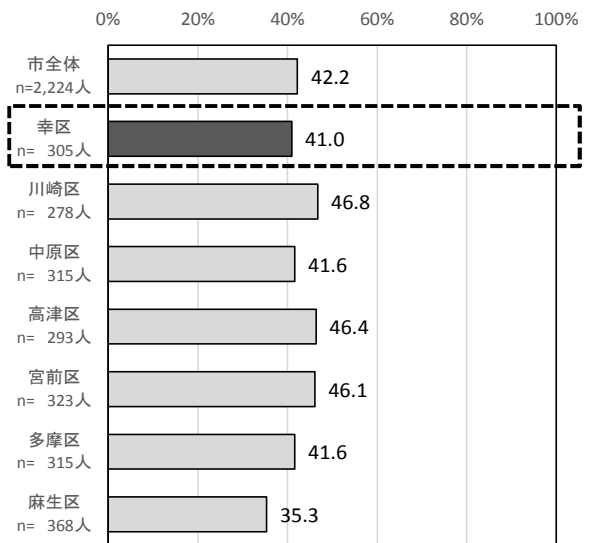
環境美化に関する活動



社会福祉協議会に関する活動



参加したことがない

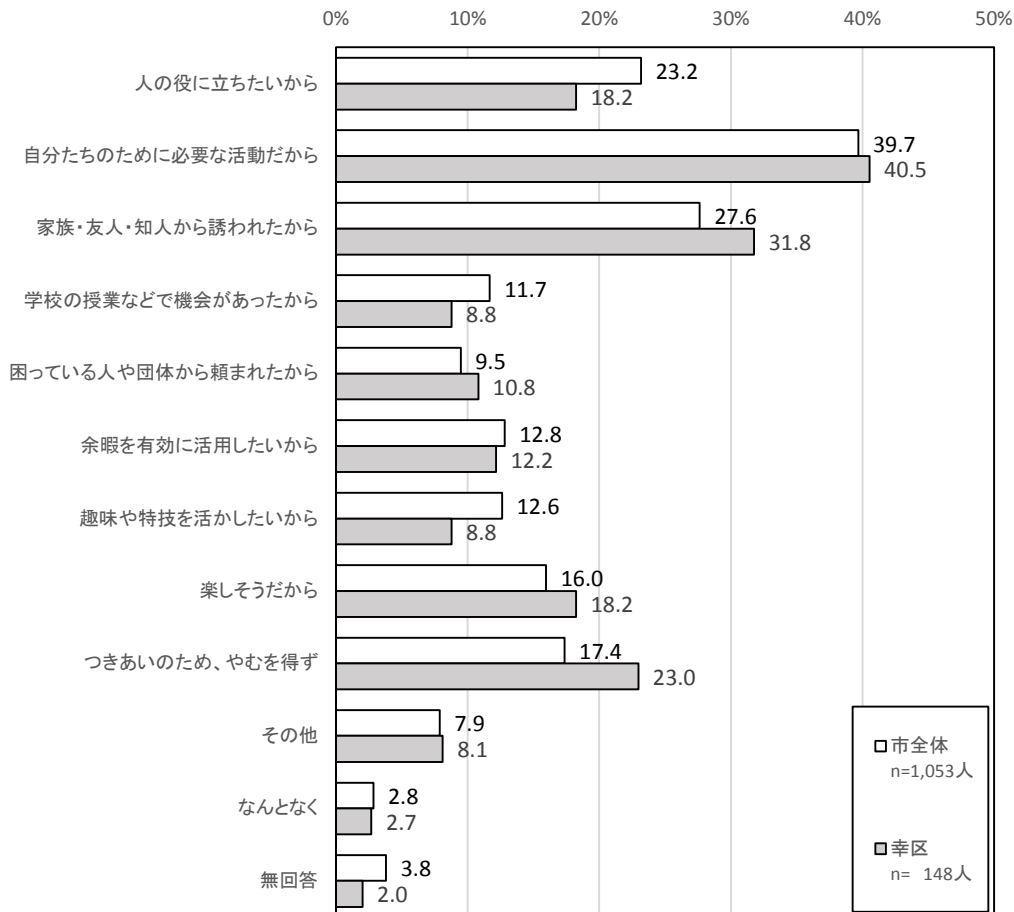


問 31 - 1 《問 31 で「1」～「13」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》

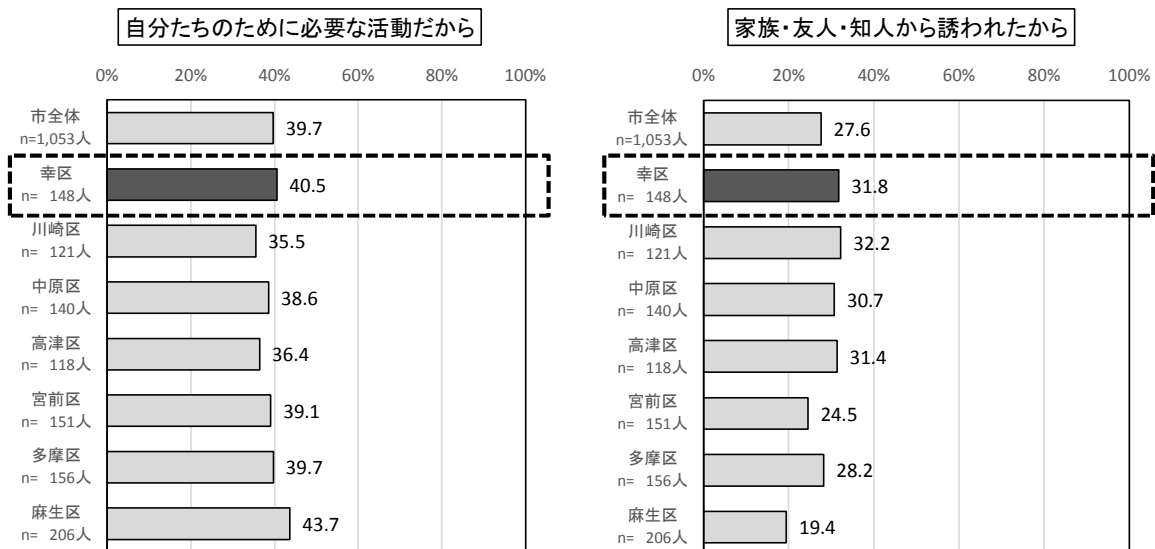
活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 40.5%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」（31.8%）、「つきあいのため、やむを得ず」（23.0%）となっている。

市内 6 区と比較すると、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 40.5%で、「家族・友人・知人に誘われたから」（31.8%）とともに 2 番目に高い。



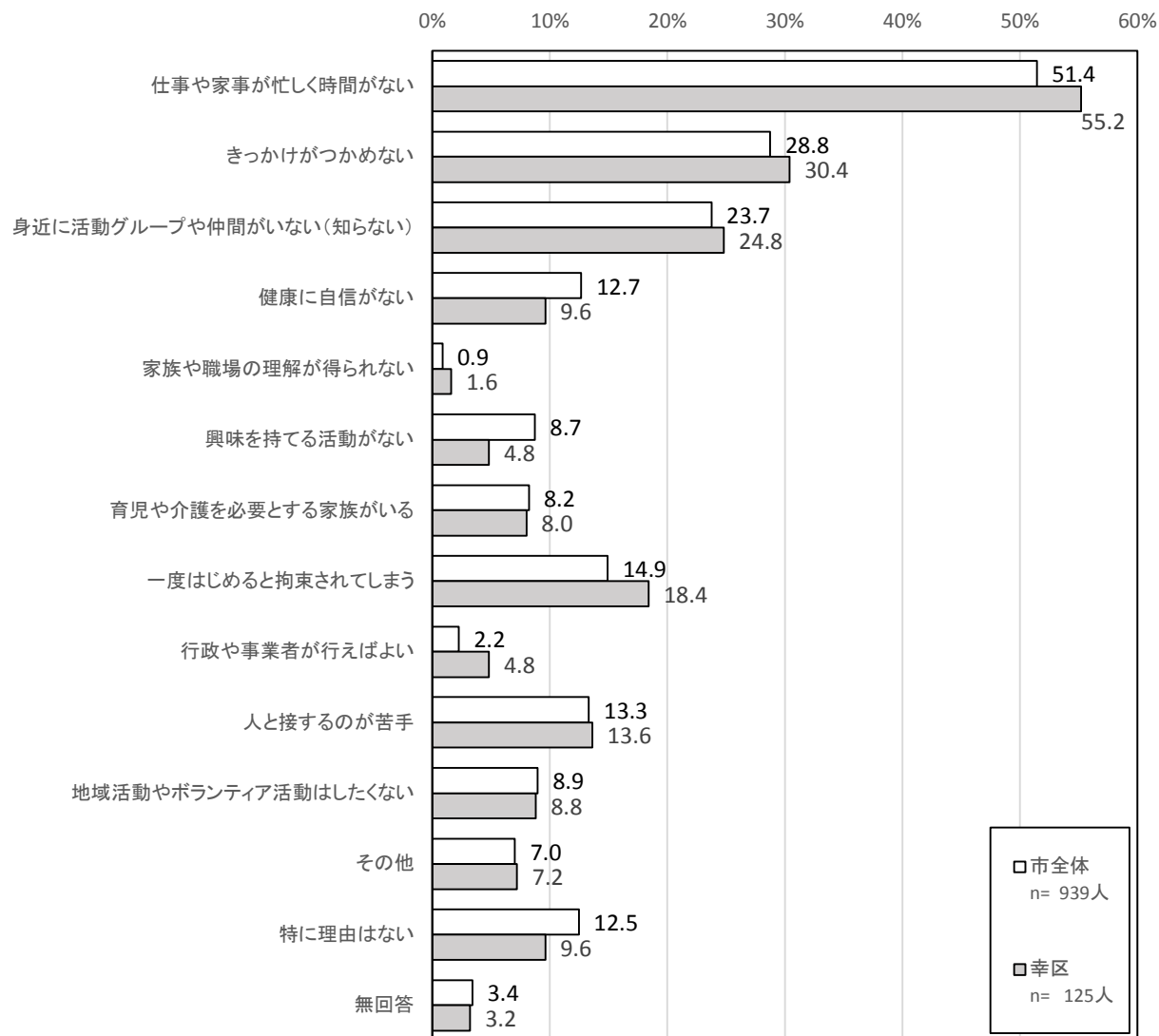
【参考】



問 31 - 6 《問 31 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。
 (あてはまるものすべてに○)

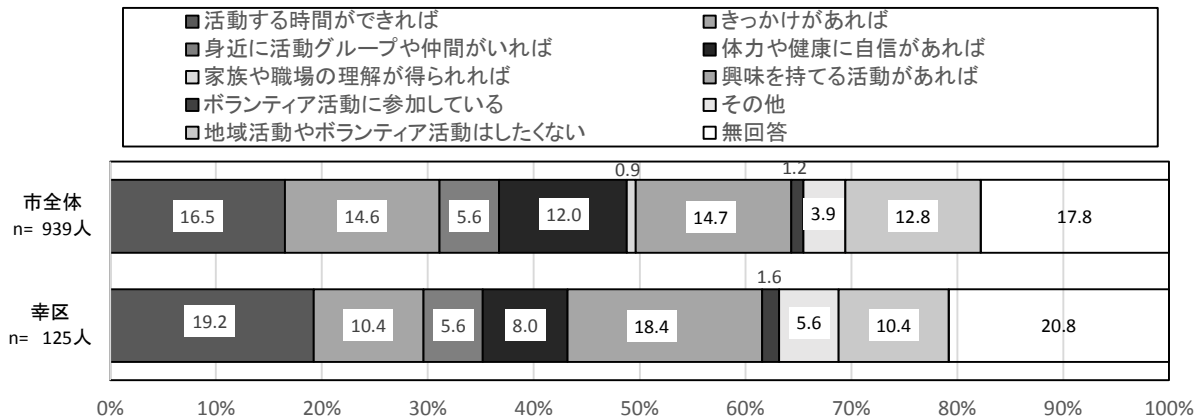
幸区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 55.2% で最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(30.4%)、「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」(24.8%)となっている。



問 31 - 7 《問 31 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

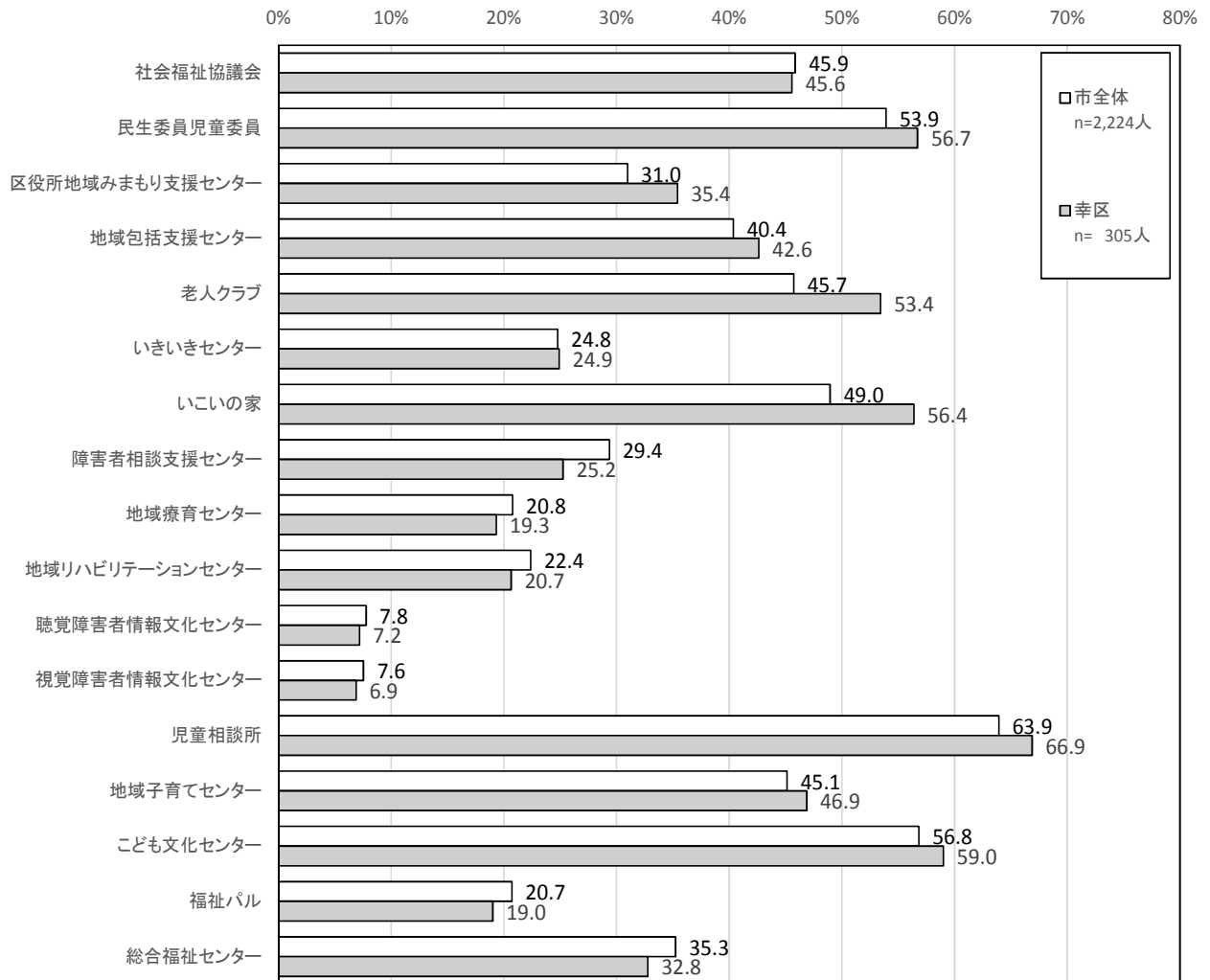
幸区では、「活動する時間ができれば」の割合が 19.2%で最も高く、次いで「興味を持てる活動があれば」が 18.4%、「きっかけがあれば」、「地域活動やボランティア活動はしたくない」が 10.4%となっている。



5. 保健・福祉に関することについて

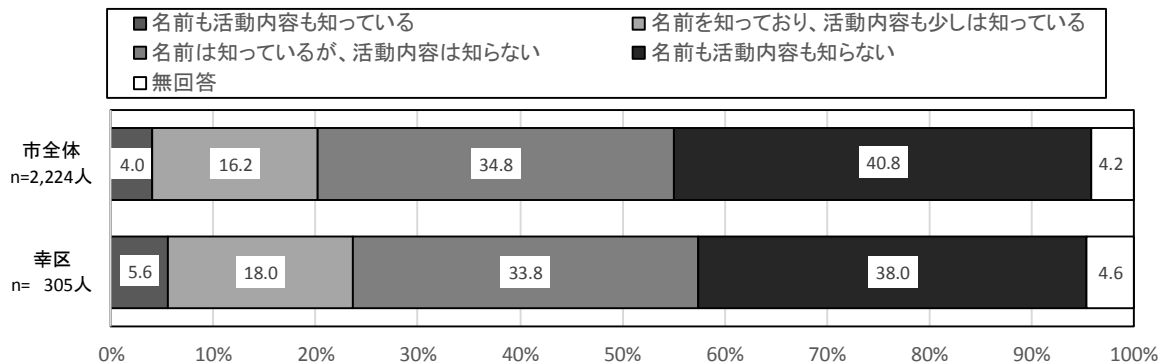
問 32 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存じですか。（団体・施設等について「知っている」「知らない」のいずれか1つに○）

幸区では、「児童相談所」の割合が66.9%で最も高く、次いで「こども文化センター」（59.0%）、「民生委員児童委員」（56.7%）となっている。



問 33 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存じですか。(1つに○)

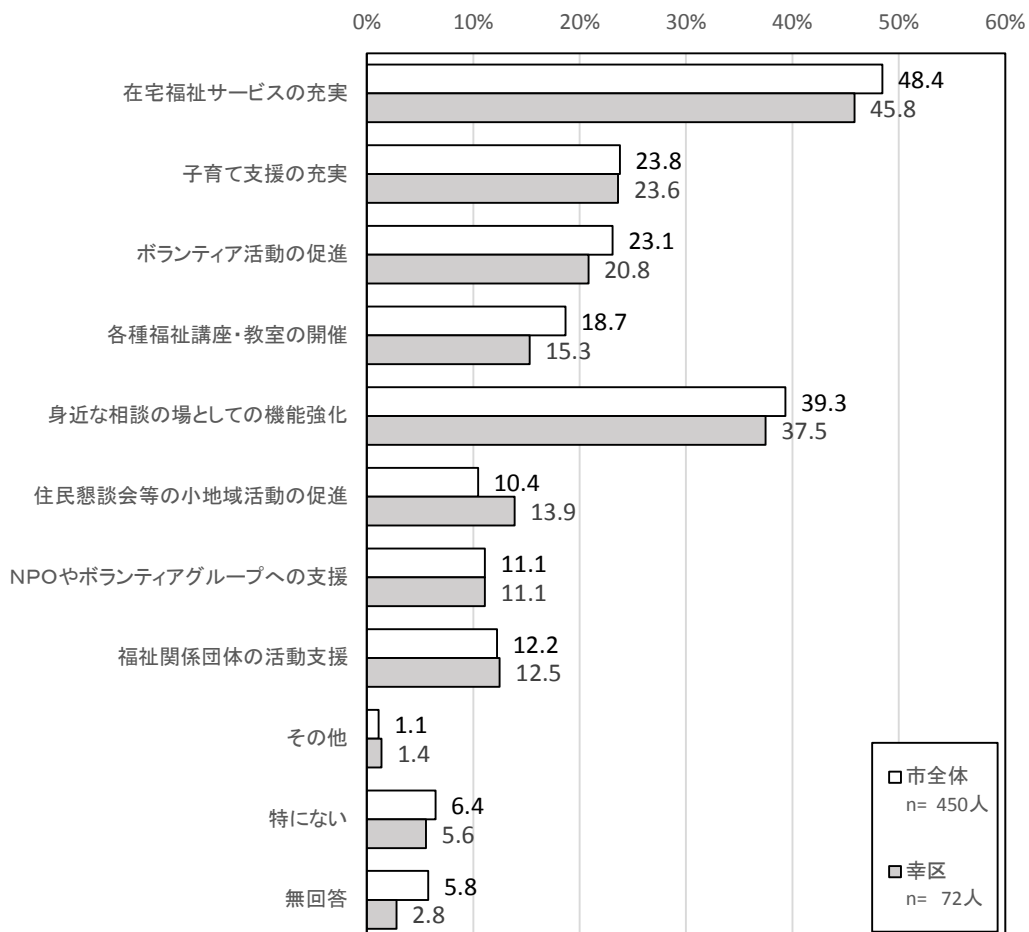
幸区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が23.6%で、市全体(20.2%)を上回っている。



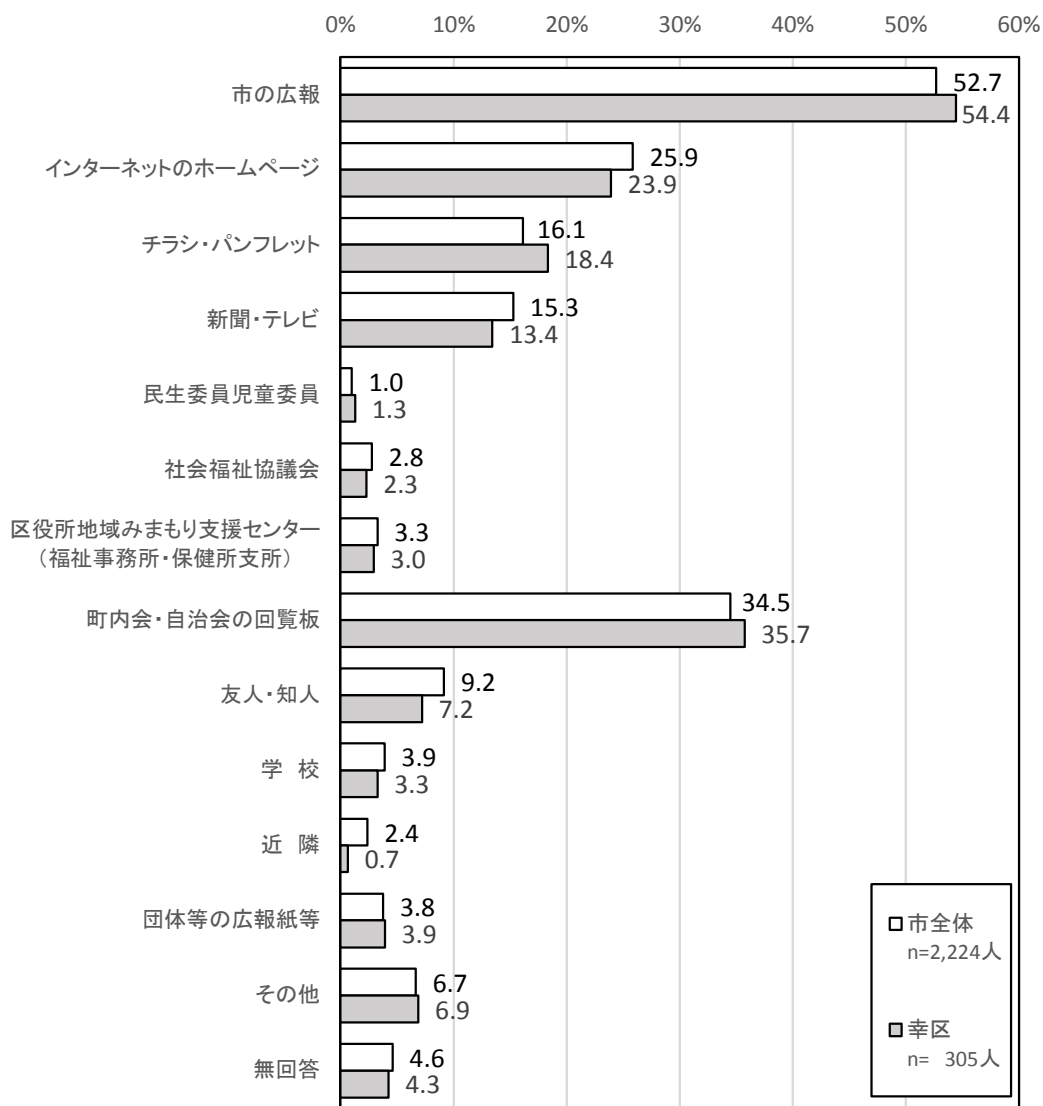
問 33 - 1 《問 33 で「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。(3つまでに○)

幸区では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が45.8%で最も高く、次いで「身近な相談の場としての機能強化」(37.5%)、「子育て支援の充実」(23.6%)となっている。



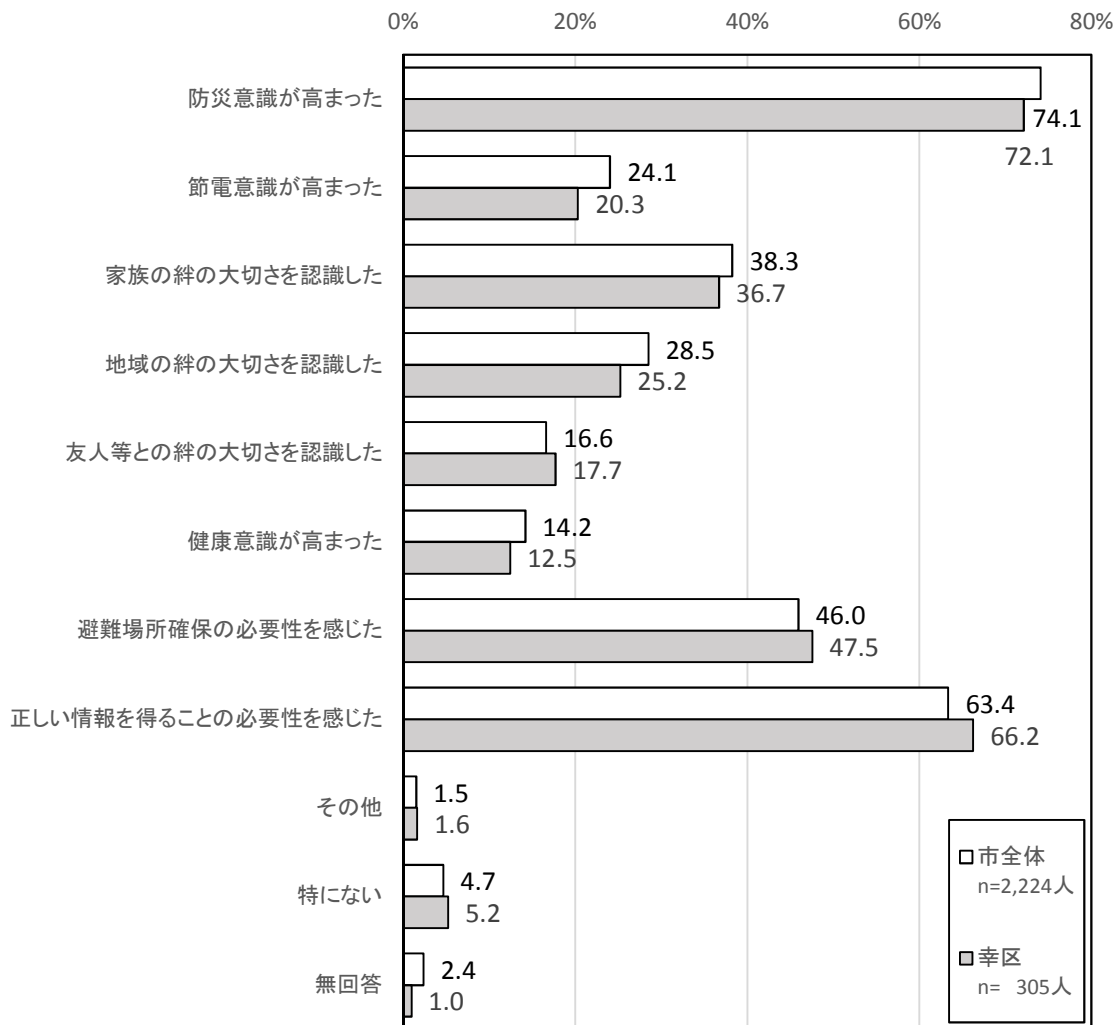
問 34 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)
 幸区では、「市の広報」の割合が54.4%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(35.7%)、
 「インターネットのホームページ」(23.9%)となっている。



6. 東日本大震災後の意識の変化について

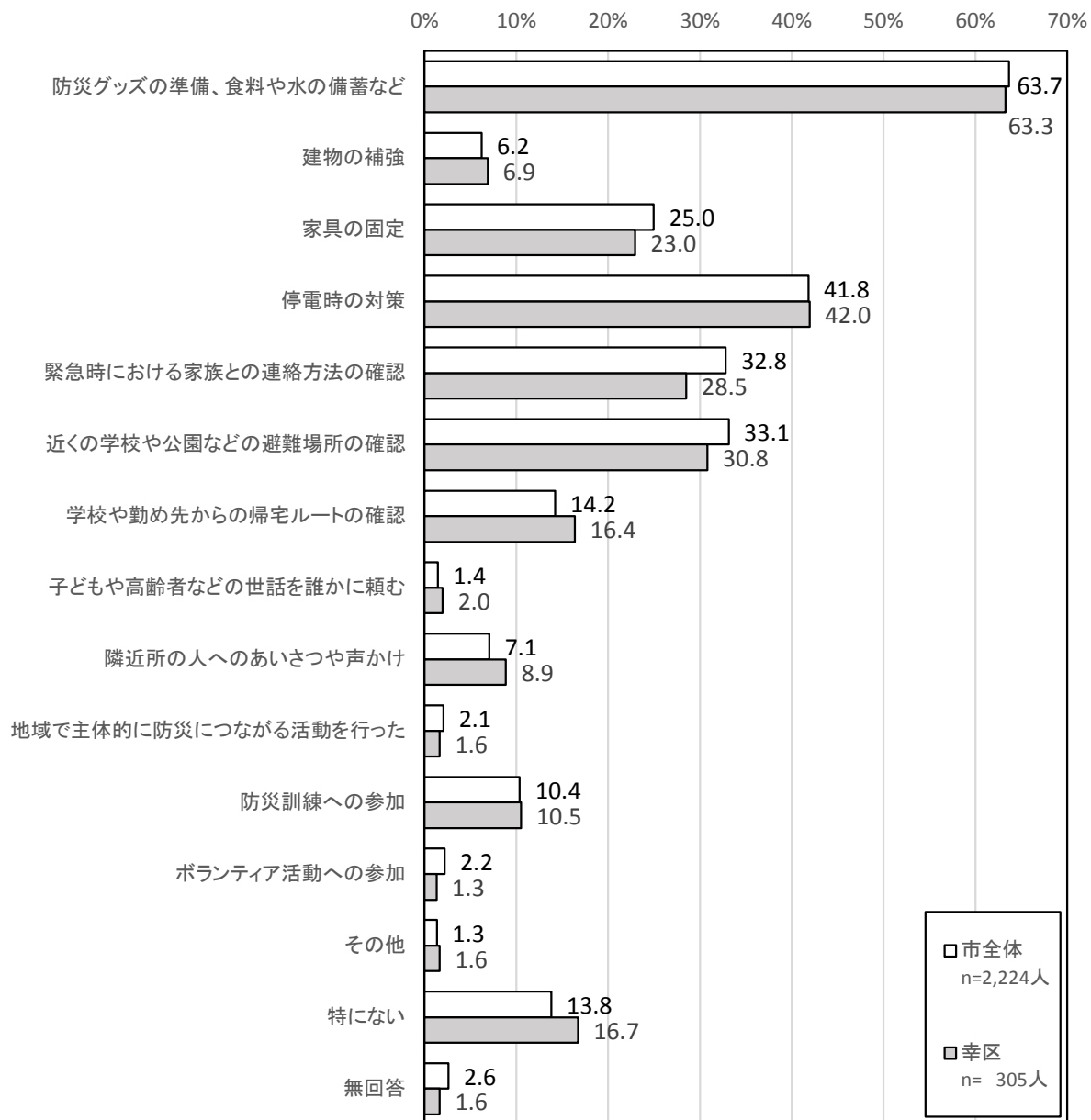
問 36 平成 23 年 3 月に起きた東日本大震災の後、あなたの意識に変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

幸区では、「防災意識が高まった」の割合が 72.1%で最も高く、次いで「正しい情報を得ることの必要性を感じた」(66.2%)、「避難場所確保の必要性を感じた」(47.5%)となっている。



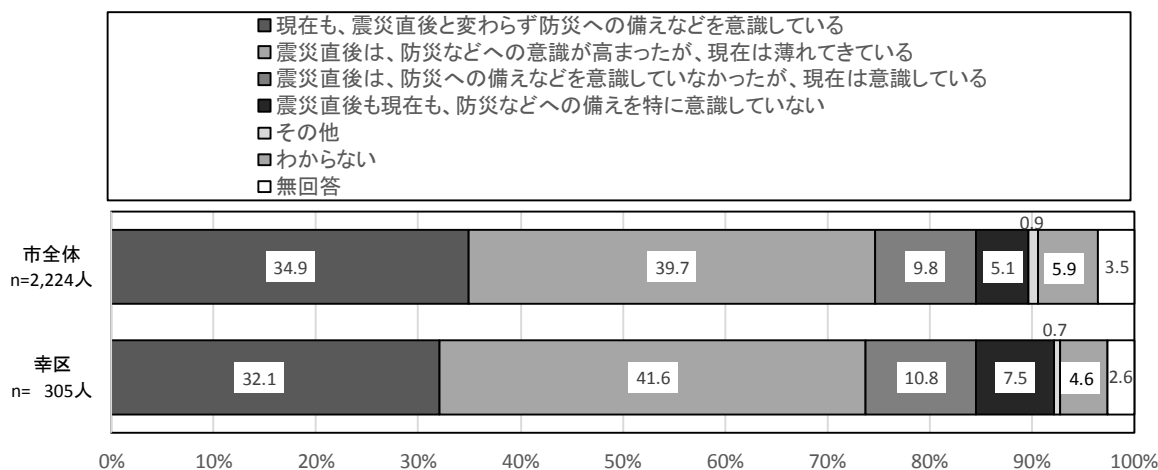
問 37 平成 23 年 3 月に起きた東日本大震災の後、あなたが新たに始めたり強化したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」の割合が 63.3%で最も高く、次いで「停電時の対策」（42.0%）、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」（30.8%）となっている。



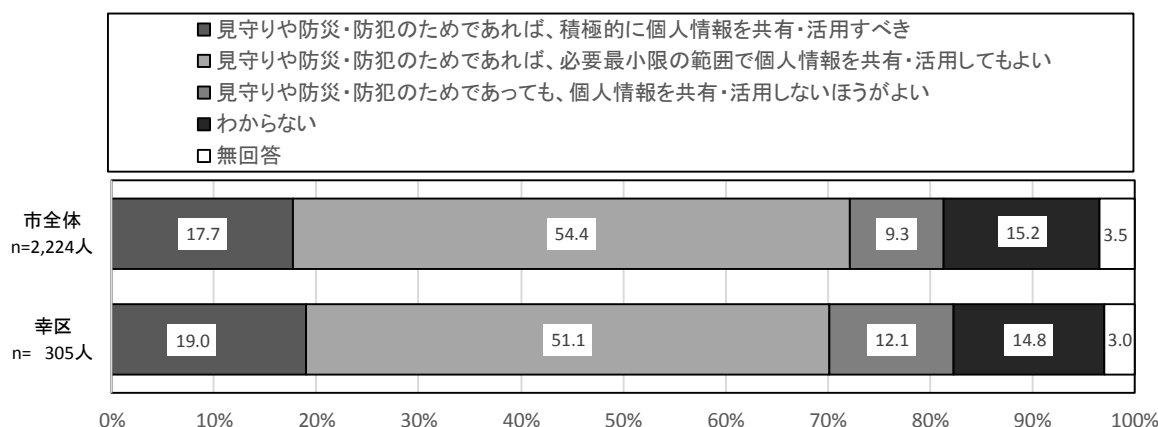
問 38 東日本大震災から8年が経ちましたが、震災直後と比べて、現在のあなたの意識は変化しましたか。(1つに○)

幸区では、「震災直後は、防災などへの意識が高まったが、現在は薄れてきている」の割合が41.6%で最も高く、次いで「現在も、震災直後と変わらず防災への備えなどを意識している」(32.1%)、「震災直後は、防災への備えなどを意識していなかったが、現在は意識している」(10.8%)となっている。



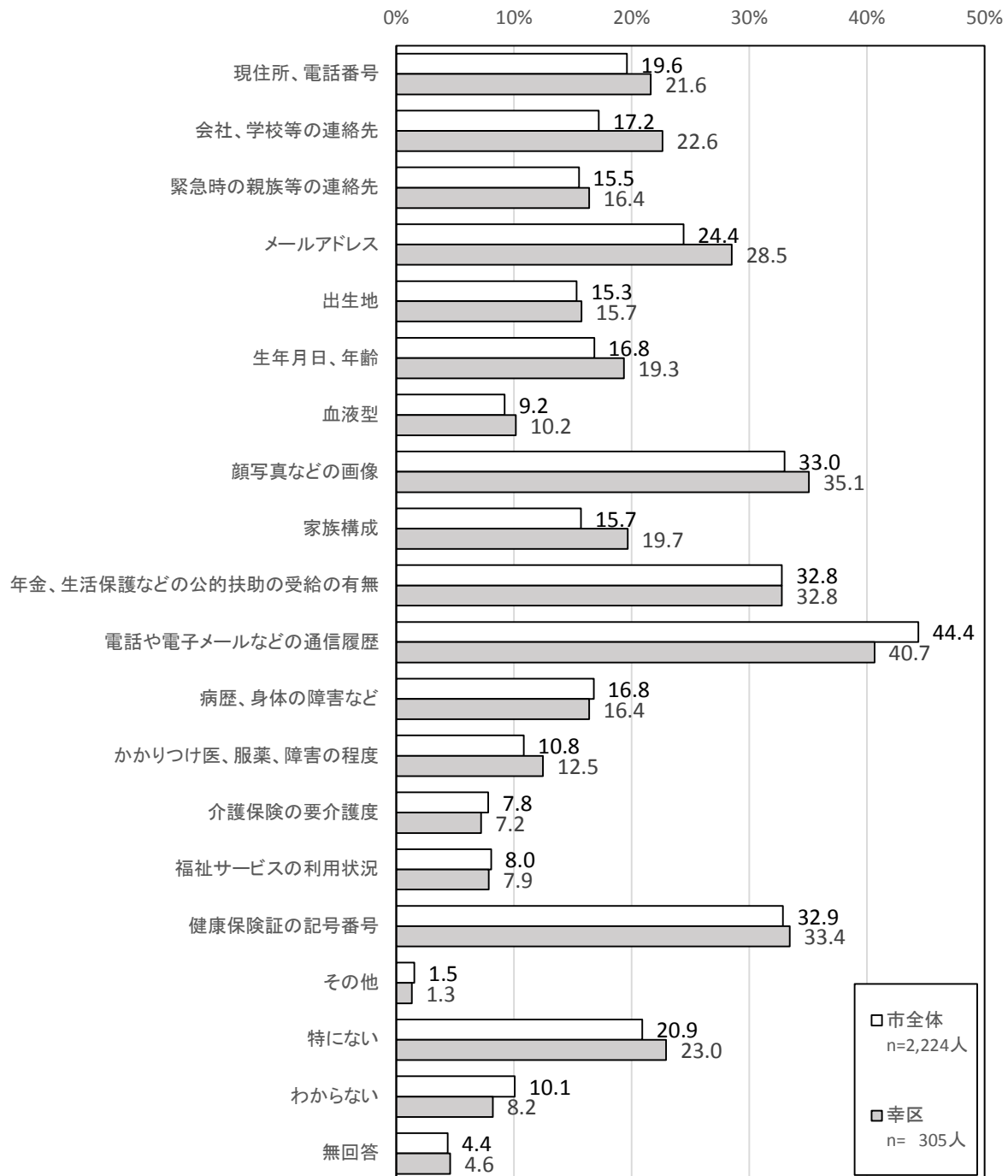
問 39 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。(1つに○)

幸区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が70.1%となっている。



問 41 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が40.7%で最も高い。次いで「顔写真などの画像」（35.1%）、「健康保険証の記号番号」（33.4%）となっている。

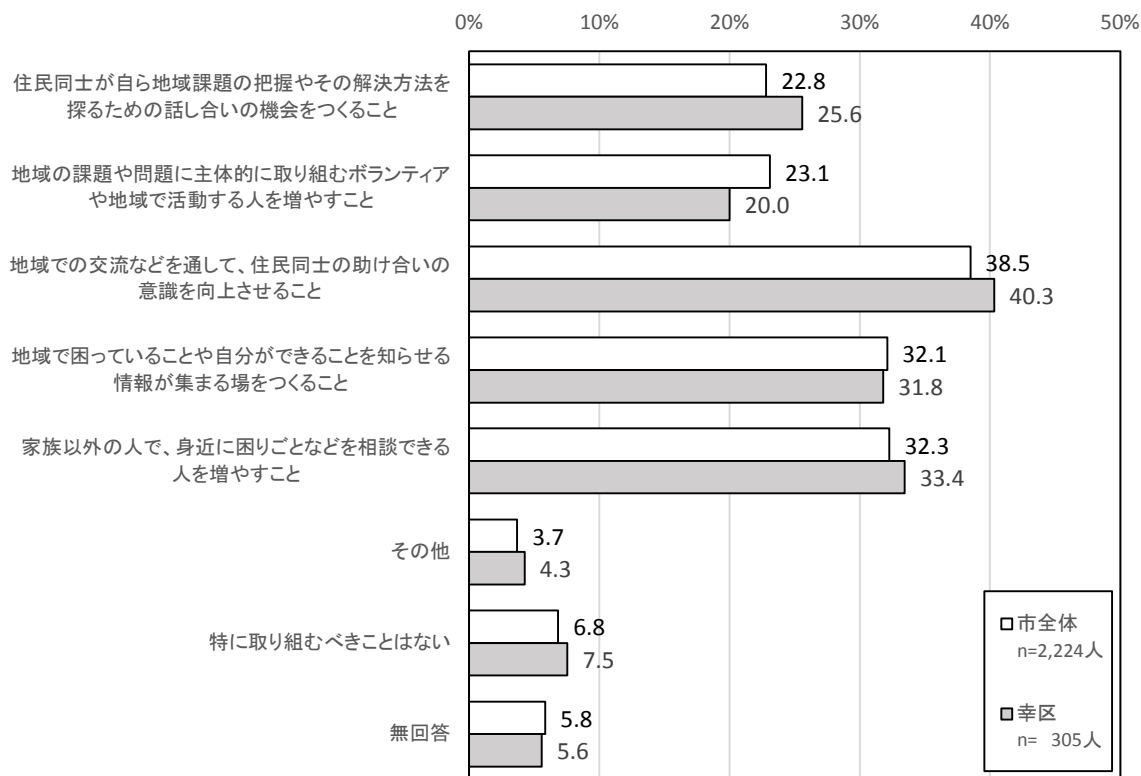


7. 今後の地域福祉の推進について

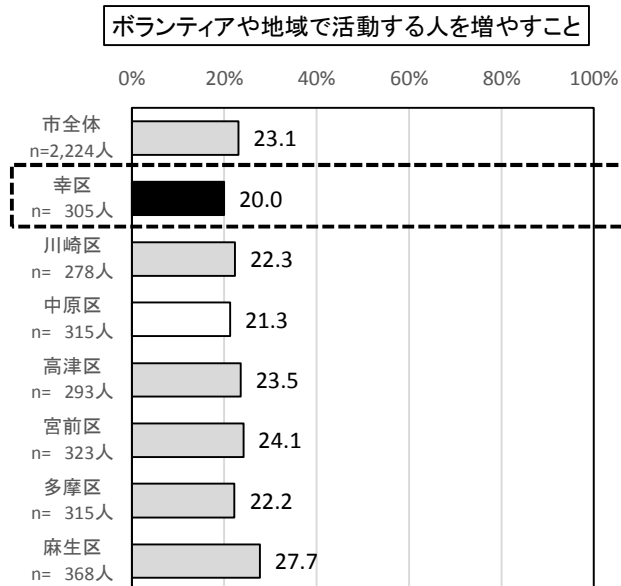
問 42 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」の割合が40.3%で最も高く、次いで「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」（33.4%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（31.8%）となっている。

市内6区と比較すると、「ボランティアや地域で活動する人を増やすこと」については、20.0%で最も低い。



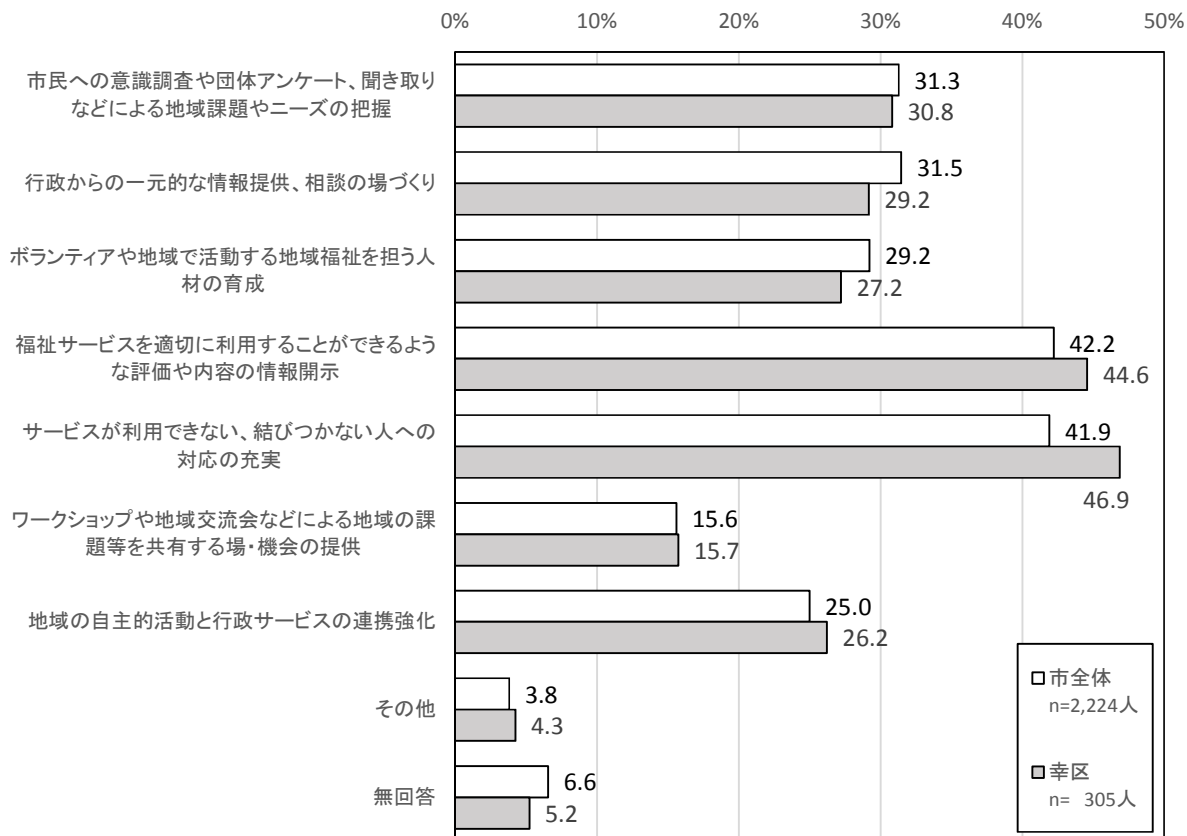
【参考】



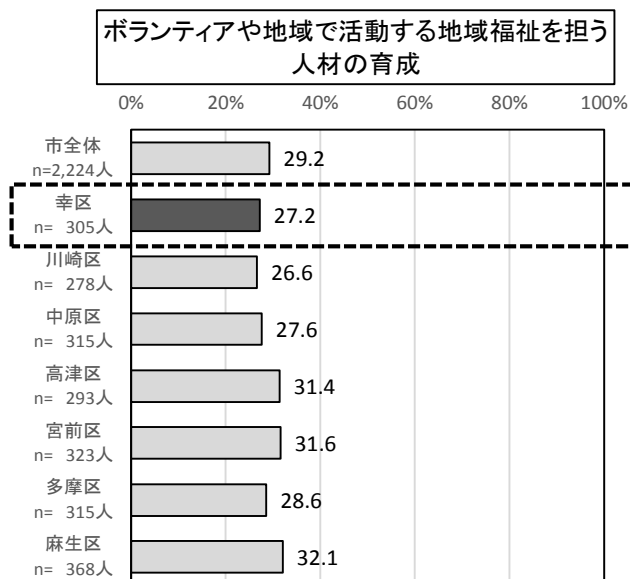
問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が46.9%で最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」(44.6%)、「市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握」(30.8%)となっている。

市内6区と比較すると、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」については、27.2%と2番目に低い。



【参考】

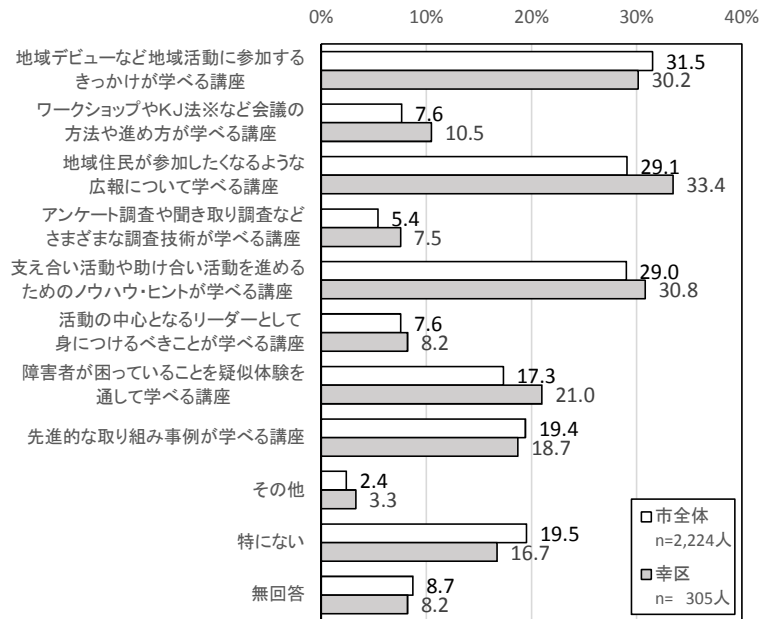


問 44 今後、地域福祉を促進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてまでに○）

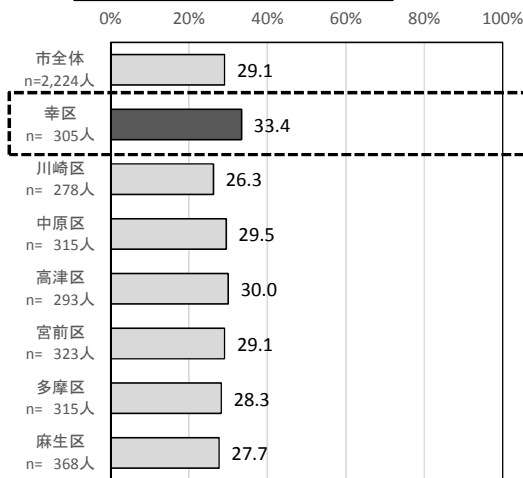
幸区では、「地域住民が参加し
たくなるような広報について学
べる講座」が 33.4%で市全体
(29.1%) を上回っている。

市内6区と比較すると、「地域
住民が参加しなくなるような
広報について学べる講座」は
33.4%と最も高い。また、「地域
デビューなど地域活動に参加
するきっかけが学べる講座」は
30.2%と2番目に低く、「支え合
い活動や助け合い活動を進める
ためのノウハウ・ヒントが学べ
る講座」は 30.8%と2番目に高
くなっている。

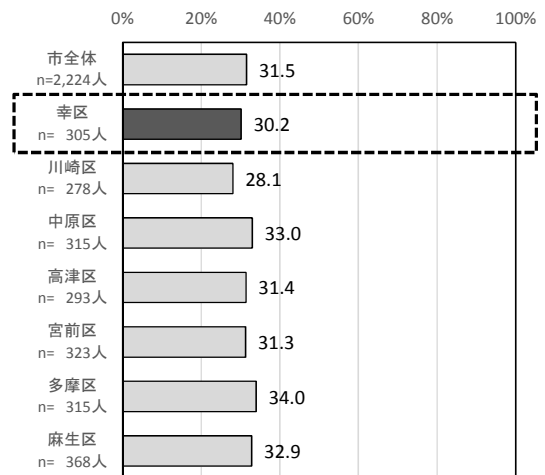
【参考】



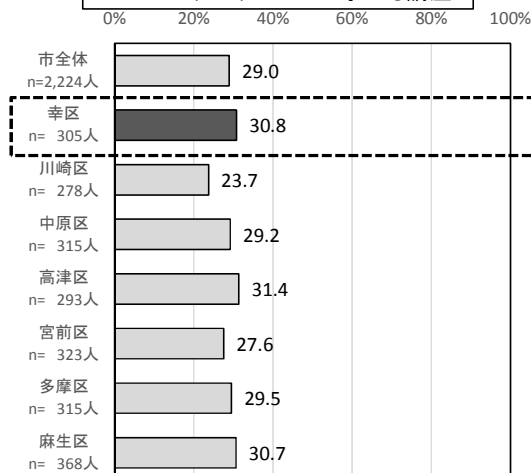
地域住民が参加しなくなるような
広報について学べる講座



地域デビューなど地域活動に参加する
きっかけが学べる講座



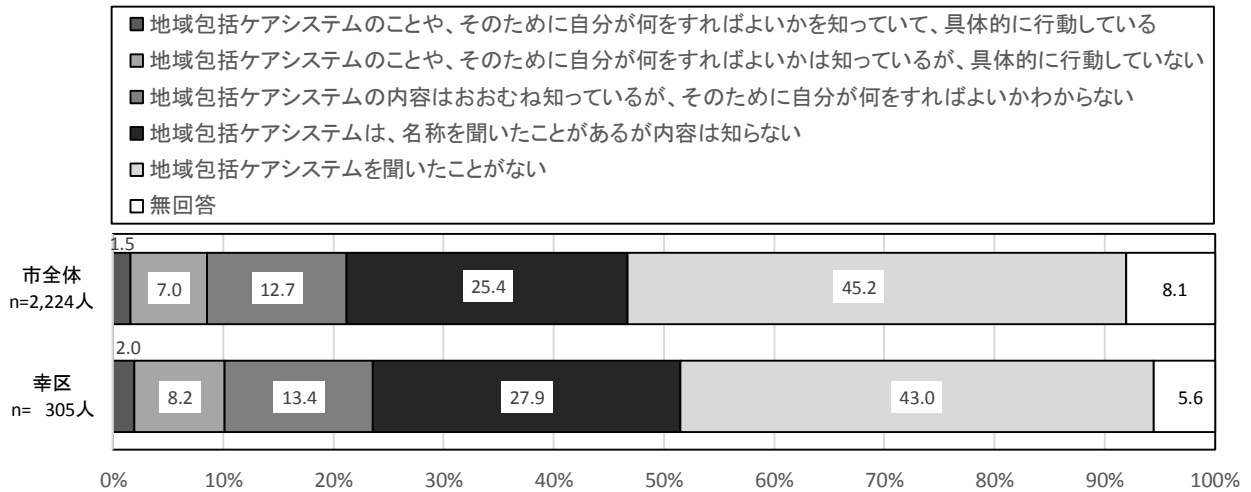
支え合い活動や助け合い活動を進める
ためのノウハウ・ヒントが学べる講座



問 45 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。

(1つに○)

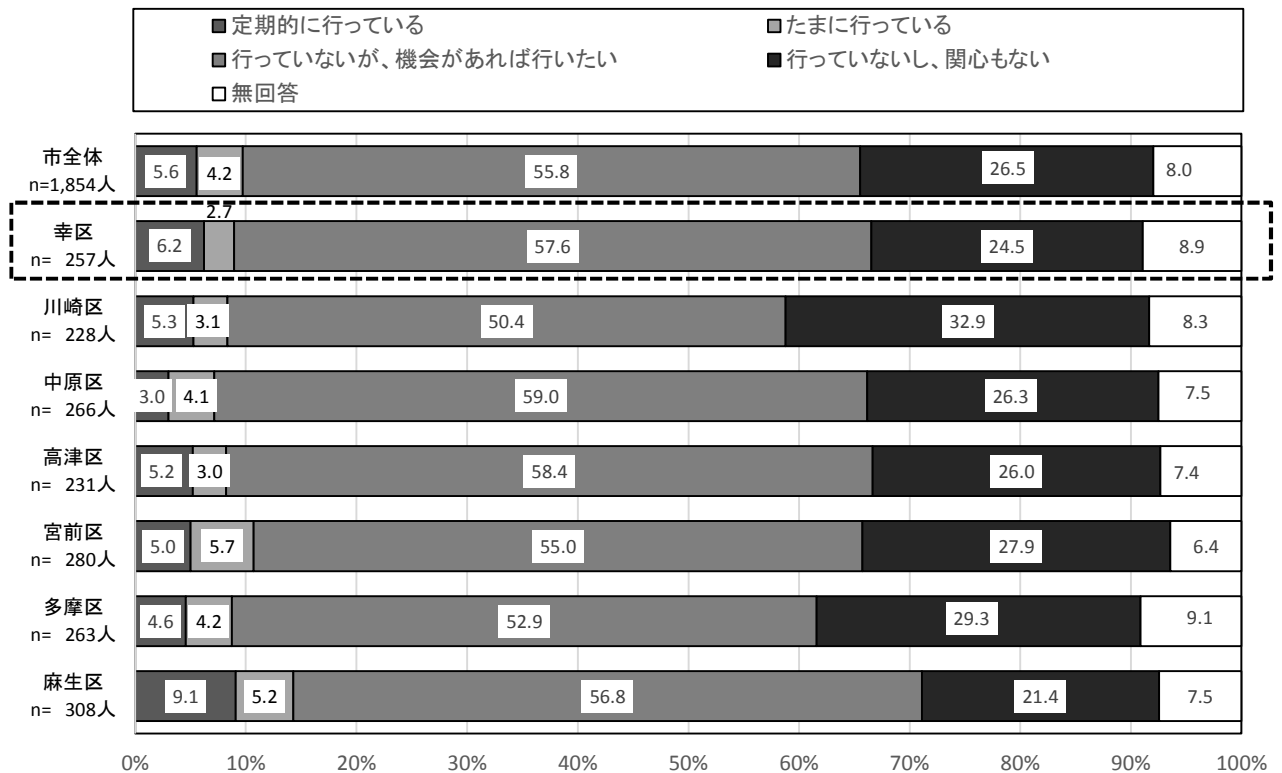
幸区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が43.0%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(27.9%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(13.4%)となっている。



問 45 - 1 《問 45 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあります。このような行動を行っていますか。(1つに○)

幸区では、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計が 8.9%で市全体(9.8%)を下回っている。市内6区と比較すると、「定期的に行っている」の割合は 6.2%で、麻生区(9.1%)に次いで2番目に高くなっている。また、「行っていないし、関心もない」の割合は 24.5%で麻生区(21.4%)に次いで2番目に低くなっている。



8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

(1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	26
2. 地域防犯・防災に関する問題	19
3. 高齢者に関する問題	20
4. 地域のつながりに関する問題	19
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	11
6. 障害児・者に関する問題	1
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	5
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	4
9. 健康づくりに関する問題	1
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	1
11. その他	9

1. 子どもに関する問題（26件）

区役所管内

	内容
1	バイクで走っている子が騒音を起こしていることが度々ある。
2	遊びスペースが少ない。
3	ボール遊びが出来る場がなく、運動能力の低下、自分で身を守る能力の低下。
4	昔は遊具があったが、けがや事故の原因ですべてなくなってしまった。その為、ボール遊びが増え、マンション内は高齢の方が多いので危ないと思うことがたまにある。
5	子育てで悩んでいる人も多いただろうし、子が学校で学問やいじめなどでも悩んでいると思う。
6	自転車の危険運転の注意。
7	子どもの7カ月健診から1歳半健診の間が長いので、10カ月、1歳と増やしてほしい。
8	子どもが自由に野球やサッカーをできる公園がない（他1件）。
9	保育園・幼稚園など子どもをあずけるところが足りない（他5件）。仕事を続けられない。
10	子どもを見守る意識が低い大人が多い。
11	通学路にもかかわらず、スピードを出した車が通過することがあり、子どもの安全に不安がある。
12	高層マンションが増える一方で、子どもを守る環境が追いついていないと感じています。
13	公園でボール遊びをしていると警察に通報されてしまう。
14	子育て支援をもうちょっとがんばってほしいです。
15	共働き、シングルマザーの子どものサポート。

日吉出張所管内

	内容
1	子どもの飛び出しや高齢者の歩行、車、自転車の運転が道路の幅が狭い為危険と思う。
2	子どもがボールなどを使った遊びができる場所をもっと増やしてほしい。
3	子どものしつけがなっていない。
4	子どもの遊びが少ない気がする。遊具がなくても良いので広い広場があれば子どもが気がねなくあそべる気がする。広い広場があるとすぐに家やマンションが建ってしまうのでかなしい（他1件）。

2. 地域防犯・防災に関する問題（19件）

区役所管内

	内容
1	台風等で浸水が起きた場合、エレベーターが使用できなくなると住めなくなる。
2	川崎市は治安が悪い。
3	先月の災害時の情報の希薄。特に町内会の役員以外ではこれという連絡網はなかった。不安に戸惑う近隣の人々や自分を含めて、全ての事柄に通じていく事だと感じた。
4	アパートなのでガスなどの事故・要注意（以前、簡易コンロで爆発事故を起こした住人がいた）。
5	坂道が多く、交通量もあり交通安全が不安（特に子ども）生活道路の規制など、車の通行を規制する必要がある。
6	治安が気になる（他1件）。子どもがまだ小さいので一人で出歩くことはないが、コンビニでたむろしている若者がバイクで走っているのを見かけると将来的な不安を持ちます。
7	高齢者及び子どもの生活道路の安全が大切だと思います。6mの公道を、スピードを出して走る車が多く、不安があります。
8	家の前の曲り角での自転車の接触（ミラー設置等対策がほしい）。
9	幸区役所のまわりで夜間に騒いでいる若者たちがいるのでなんとかしてほしい。
10	自転車のマナー等気になっております。
11	車優先の道路で歩行者が危険な道が多い。
12	自転車の通行など。
13	防災対策が甘いと感じる。町内会の執行部がもう少し主導して対応を考えてもらいたい。マニュアル作りや事前の打ち合わせなどもしもに備えて考えてもらいたい。
14	自分は団地に住んでいるが、同じフロアの住人でも顔や名前が分からない人の方が多い。

日吉出張所管内

	内容
1	防災訓練のとき、放送が聞こえなく、不安がありました。
2	夜10時以降に子ども達だけで出歩いている。一時不停止や自転車の交通ルール厳守の乱れ。 車や二輪車の騒音。
3	自然災害が近年全国各地で多いので、その対策ができていないか気になっているため。
4	介護に使用する為、車の運転時、車椅子のマークを貼りライト点灯し安全運転に徹していますが、よくあおり運転をされます。

3. 高齢者に関する問題（20件）

区役所管内

	内容
1	高齢者の一人暮らしが増え、孤立する傾向があるように思われる。認知症などの方も増える傾向があるので対応策が必要。
2	高齢化率が高い。子どもが少ない。
3	介護をされない為の健康づくり、家で出来る体操等。
4	お1人お1人に目が届いてはいないと思う。孤独死とか多いので。
5	高齢者の話し相手。他人様のお子さんには口出しできませんが注意ができればと思います。
6	周囲は75才以上の方が多。何か災害があったらどのように対応したらよいか心配になる。
7	マンションアパートが増えて顔を見たこともないしもちろんお話をしたこともありません。
8	高齢者で通院を必要とするとき、介護タクシーを使用したいが、利用料金が高いと聞いた。(ヘルパーをつけると往復で1万くらいかかるらしい)。
9	一人暮らしの高齢者で認知症らしい方がいらしたり、ご家族がいらしてもどれくらい把握されているのかわからないのでご近所の方にも知ってもらい、協力して頂ければと思います。
10	高齢者が家族と暮らしていないので一人、助けるにしても話をするくらいしか出来ない。
11	介護が必要になった時、タイムリーに利用出来るかどうか心配である。
12	1人暮らしの高齢者のサポート（他1件）。

日吉出張所管内

	内容
1	高齢者に関して、人間関係が希薄で優しさがなくなっている（他1件）。
2	高齢者やそれに近い年齢の方が増えている。
3	町内会の高齢化、地区行事の参加が少ない事。
4	一人暮らしや高齢世帯に対して食事会や健康体操など声かけをしても参加しない方への対応に苦慮している。
5	近隣に要介護者が多く居る。
6	子どもの飛び出しや高齢者の歩行、車、自転車の運転が道路の幅が狭い為危険と思う。

4. 地域のつながりに関する問題（19件）

区役所管内

	内容
1	何を話していいかわからないので話ができない。
2	地域のゴミすてのルールをまもっていない人がいる。他県や他国からの居住者（他1件）。
3	一方的な迷惑行為に対して話し合う事が出来ない。
4	まわりにマンション、アパートが建ち、住人の存在がわからない（他4件）。町会加入をお願いしに行っても呼び鈴を鳴らしても出てこない。
5	仕事を持っているので自治会などの行事に参加できていない為どういう事をやっているか知らない。

	内容
6	80 才の年と共に若い近所の人との付き合いがむずかしい。町会の金の集金などで夜出るのがつらい。
7	無料で気軽に参加できる集まりが少ない。生きがいつくりに、活発にとり組むことが大切。町内会での交流や参加しやすいイベントが多くあるといいと思う。
8	情報が少ない。
9	仕事のため家にいない。
10	高齢者は外に出なくなり、30 代までの人々は個々人の主張が強くなり個人情報とかプライバシーで人づきあいがへたである。

日吉出張所管内

	内容
1	新しい世帯の増加。
2	言葉を交わすことが下手になった。スマホなどのため、昔の人が苦勞して生来た苦勞が、教育の中で欠けている。
3	町内会に拠点がないことで色々な活動に支障がある。現在は特養やマンションの集会所、空家を賃貸するなど対応しているが将来的に不安である。
4	50 年前は、隣近所でも子どもが沢山いて今は子どもが何人しかいなくなり子どもがいたころは、親も外で話をしたり、交流があり良かった。最近、隣近所が高齢者になり、隣近の人と、話す事が少なくなって来たと思う。

5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（11件）

区役所管内

	内容
1	公報等が配布されて来ない。
2	シングルマザー等の貧困、オレオレ詐欺等、身近の事例は知らない。
3	情報が少なすぎる。
4	町内会の議事内容を公開する。
5	多摩川沿いに住んでいるが台風 19 号の際、「非難するか否か」の判断がマンション全体では行なえず、隣室の方とも生活リズムが違う事などもあり情報を共有する事は出来なかった。
6	何かあった時に助け合う土壌がない。災害があった時等高齢者や障害者、小さな子どもがいる家庭はどうすれば良いのか。情報が不足する事が考えられる。
7	マンションやアパート住人の町内会への不参加。
8	障害者（知的）に関する情報が、文字では詳しく書かれているが、それを本人が理解できるレベルではないので、結局、情報は得られない。質問、相談する先がわからないので相談できない。

日吉出張所管内

	内容
1	こちらから区役所へ行って手続きをしないと、受けられるサービスが情報を知っているだけになり、窓口の人は聞かれなければ支援情報を伝えない。支出を少なくする為、行政から「口止めされている」とさえ思える。
2	台風等が発生した時に避難場所が開設しているかなどの情報が入手しづらい。川崎市HPに掲載されているがアクセスが増加すると見れない。Twitterなどで通知が欲しい。
3	情報の手に入る、入らない知ろうとする、知ろうとしないに差がある。年齢ごとに。

6. 障害児・者に関する問題（1件）

日吉出張所管内

	内容
1	障害者、子どもを迷惑な存在と考える住民が多い。自分も障害のある子を持っているが、自分から動かないと何も与えられない。自宅介護をしていた時期、あらゆる手続きで役所に行かねばならず、負担に耐えかねて施設に入れた。

7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（5件）

区役所管内

	内容
1	地域活性化する動きが見当たらないと感じています。昔は商店街などが賑わっていたが今はそれが無い。もっとイベントやきっかけ作りを多くした方がいい。
2	自身のことで精一杯、なかなか他者に目を向けることができない。市区は何を具体的におこなってくれているのか、見えてこない。
3	川崎市は公共施設が人口比において貧弱極まりない、特に幸区。

日吉出張所管内

	内容
1	拠点の明示がなされていないように思う。
2	市営の運動施設が少ない。

8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（4件）

区役所管内

	内容
1	色々な事を気軽に相談したい。子どもがいないと（成人すると）どうしても近所の人との交流が少なくなる。
2	1人暮らしの高齢者や、老々介護を自宅でしている方々に行政から声掛けや、積極的な電話連絡などをしてあげないと何も知らないお年寄りも（今後たくさん出てくるので）病気や介護保険も知らずに自分たちの首をしめることとなります。行政からの積極的な行動も重要。

日吉出張所管内

	内容
1	家庭内の問題や悩みなど隣近所でもあまり話さない。
2	私ではありませんが知人が夫のモラハラに悩んでいて、どこに相談すればいいかわからず行政も信用出来ないと不信になっていたので、家庭問題に悩む女性は多いと思うので専門の方などの相談窓口をわかりやすく紹介出来る仕組みがあるのなら良いのではと思いました。

9. 健康づくりに関する問題（1件）

区役所管内

	内容
1	近くにちょっと運動のできる公共施設がない。

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（1件）

日吉出張所管内

	内容
1	体の不調や事件、事故にあった時の支援に時間がかかる（要する）可能性を感じる。

11. その他（9件）

区役所管内

	内容
1	足の不自由な高齢者に歩きづらそうな歩道（せまいので接触のキケン） 大きい道路に面した遊び場、とびだし。
2	JR 矢向駅の利用者が年々増えているとのこと。通勤、帰宅時間帯の混雑が激しい。バス等もっと本数が増えてほしい（JR 川崎駅へのアクセス）。
3	地域についてや町内で行なわれていることに対して詳細を知らない。
4	行政は、1人1人の生活を問題としていない。
5	自治会費は払っているが恩恵はない。内部の人の一部の人のための会合となっている。自治会が地域の意思決定機関とは言えないし、自治会役員が地域の代表でもない。行政の方々は公僕だが、自治会役員は公僕でもないしそのような意識もない。また必要とされていない。

日吉出張所管内

	内容
1	以前、ネコが外に出たことがよくあり苦情が来ました。今は出ていないのにあたかもそのお宅の庭にあるネコの糞が我が家のもののようなはり紙をしている。とても心外である。
2	個々の意識の問題が大きいと思うのでむずかしいです。
3	他国の方が行政によって空家に入居したが、ゴミ捨てなどかんたんな町のルールが守れない。コミュニケーションがとりづらくて敬遠してしまう。
4	夜10時以降に子ども達だけで出歩いている。一時不停止や自転車の交通ルール厳守の乱れ。車や二輪車の騒音。

(2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	7
2. 地域交流のため	8
3. 社会貢献	3
4. 健康維持	6
5. 時間に余裕があるから	0
6. 身近で関心・興味がある	4
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	3
8. 街の美化のため	3
9. 時間に余裕がなく、できない	2
10. 病気・高齢だからできない	1
11. 参加する気はあるが方法がわからない	3
12. その他	7

1. 自分自身や子どものため（7件）

区役所管内

	内容
1	子どもに体験させたい。
2	お祭りイベントなどは楽しそう。多摩川の緑化運動は色々な体験ができそう。
3	自分の子どもが障害者なので。

日吉出張所管内

	内容
1	子どもがお世話になっているから。
2	子どもがいるので身近である。
3	子どもの頃参加して楽しかったので。
4	自分も楽しく、人の役にも立てそうだから。

2. 地域交流のため（8件）

区役所管内

	内容
1	地域は自分の住んでいるところだから。
2	健康に自信がないので健康づくりに関する行動に参加して少しでも勉強して身体の為になるようにしたい。少しでも町内会、自治会に参加して社会に出て色々な意見を聞きたい。
3	つながり。
4	地域交流のため（他1件）。

日吉出張所管内

	内容
1	町内会で役員をさせて頂き喜んで参加しています。
2	自分の健康づくりと地域とのコミュニケーションづくりのため。
3	地域内のコミュニケーションが大事と思うから。

3. 社会貢献（3件）

区役所管内

	内容
1	自分の経験を活かせると思うから。

日吉出張所管内

	内容
1	幅広い活動ができる一助になれば。
2	動けるうちはやってあげたい！

4. 健康維持（6件）

区役所管内

	内容
1	健康に自信がないので健康づくりに関する行動に参加して少しでも勉強して身体の為になるようにしたい。少しでも町内会、自治会に参加して社会に出て色々な意見を聞きたい。
2	健康寿命を延ばし元気でいたい。
3	自分の健康維持と趣味にマッチしそうなので。
4	体を動かすことが良い。
5	身体の柔軟性、新陳代謝を保っていたい。今、要介護の夫の手助けをしているため。

日吉出張所管内

	内容
1	自分の健康づくりと地域とのコミュニケーションづくりのため。

5. 時間に余裕があるから（0件）

6. 身近で関心・興味がある（4件）

区役所管内

	内容
1	芸術（特に美術）に関心があるため。
2	知識や経験に関わらず参加しやすそうだから。
3	一番身近で手軽・気軽。

日吉出張所管内

	内容
1	身体を動かすことが好きだから。

7. 仕事をしていてかいは資格があるから（3件）

区役所管内

	内容
1	心と体の健康について専門的に勉強し資格もある。現在も過去も社会福祉協議会で講座を担当している。「傾聴ボランティア講座」「英会話講座」。
2	医療職である。
3	自分の専門性（職業）を生かせると思うから。

8. 街の美化のため（3件）

区役所管内

	内容
1	外国から日本はきれいだと評価されているが、実際は河川の周辺など、かなりごみが散乱している。

日吉出張所管内

	内容
1	街の美化のため。
2	環境美化ならば地域の役に立つ上、参加しやすいと思うから。

9. 時間に余裕がなく、できない（2件）

区役所管内

	内容
1	現在子育て中だから。
2	趣味に没頭している為、時間の余裕が無い。

10. 病気・高齢だからできない（1件）

日吉出張所管内

	内容
1	体力的に無理なくできそうだから。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（3件）

区役所管内

	内容
1	ワインに関する勉強会など参加したい。
2	絵画を観賞することが好きなので。

日吉出張所管内

	内容
1	活動する場所も分からない為、活動出来ない。

12. その他（7件）

区役所管内

	内容
1	今現在思い浮かばない。
2	私一人で生活する中でさびしい。また、ここに来て6か月でご近所で知る人がいない。
3	時期や内容などの条件が整えば、活動の内容は問わないと思うから。
4	茶道を趣味としています。又、ポップス、ジャズ、クラシックピアノの方と親しいのでコンサートを活動など応援しています。
5	スポーツが好きで普及させたいから。

日吉出張所管内

	内容
1	一匹でも多くのねこを助けたいから。
2	近くにドッグランなどが無いので場所があればうれしい。交流の場があればトラブルがなくなるのではないかと。

(3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	5
2. 市への意見・要望について	11
3. 地域住民とのつながりについて	2
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	1
5. 今自分がやれることがない	0
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	2
8. 取組への期待について	5
9. 守秘義務について	1
10. 相談窓口について	0
11. 多世代や異属性間での交流について	0
12. 地域防犯・防災について	0
13. サービスや手続きについて	0
14. 医療について	0
15. その他	7

1. 取組の周知について（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	市民1人1人が、各々の役割を簡単に認識できるようにしてほしい。取組について「調べる」ことをしないと分からないから、幅広い年代の多くの人に認知されていないと思う。
2	35～39歳	このアンケートを通して、地域福祉について考えるきっかけになりました。川崎市は全国各地から転居されてくる方が多く、比較的若い世代が多いように感じます。若い世代はSNSを利用して情報を得ている方も多いようです。あまりインターネットを利用、活用しない先輩の方と若い世帯をつなぐシステムや比較的地域での活動に参加しやすい子育て世帯からの意識向上に向けた取り組みが有効ではないかと思います。
3	50～54歳	できるだけ早く、システムを構築し、運用を進めて存続意義を高めていき広く地域に周知させることが必要と考えます。
4	50～54歳	もっと大々的に市報や町内回覧板に記事をのせてほしい。
5	55～59歳	まだ自分がその立場にない為、知らない事もあるので年一回程度で個人家族がもし病気、ケガ、事故にあった場合の流れ（届け出）とかどこにまず相談に行ったらよいかなどのパンフレットの配布があれば意識も高まると思います。
6	60～64歳	具体的な仕組み、法的関係が見えないので、今の分かりにくく使いにくい川崎市のWebサイトを全面的に見直し、分かり易い明確な内容の情報提供をして欲しい。

2. 市への意見・要望について（11件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	子育て世代や高齢者、障害のある方は特に何かあったときに手助けが必要だと思われるので近くに助けを求めることができるキーパーソンがいるのか確認する必要があると思う。近所づきあいも大切だと思うが、人に介入されたり人と関わる事に抵抗がある人もいると思うので市や区の担当者が必要だと思います。
2	45～49 歳	従事する人達の給与をアップすべき。大切な仕事なのに報酬が少なく人員も少ない。自分が転職してもいいと思う位だが生活が成り立たない手取り額だと感じた。
3	45～49 歳	よく分からない。具体例がほしい。
4	45～49 歳	1 人暮らしや障害者で自ら情報を取れない（取らない）引きこもりの傾向がある人達が、孤立せず暮らせるよう、地域の学校などで気軽に学んだり楽しめる講座が安価であると良い。子ども食堂のように一人でも入りやすい話し相手がいるような場所もあると良いが、孤独が好きだったり人と会うのが苦手な人は出てこないだろうが、やり続けて1人ずつでも地域の人たちと関わられるようになってほしいと思う。
5	65～69 歳	今は良く分かりません。
6	70～74 歳	問 45-1 で4「行っていないし関心もない」人をいかに問 45-1 の1～3の人にするかが問題（課題）である。
7	75 歳以上	堀川町在住。地域包括センターがどこにあるのか場所電話番号を知りたい。川崎市は、高齢者に対してどういう福祉援助があるのか、川崎市は福祉に欠けていると思う。高齢者の行える体操教室も必要である。文化的にも遅れている住みにくい町である。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	近年ある子ども食堂。NPO の発信の場所が不足。地域掲示板の開放をより広くしてほしい。お寺とか教会で子ども向け広場をひらいておりそこも市の（地域の）場として拾ってほしい。民間との共働をはかってほしい。
2	65～69 歳	包括ケアシステムについては、今まで知りませんでした。今回のアンケートで何となく、ですが近所で話し合いたいと思います。支え合うことの大切さ、大事ですね。
3	70～74 歳	良く理解していません。
4	70～74 歳	役所に行けば近くにあって車イスをゆずっていただいてありがたく一人暮らしの人を車イスに乗せて喜ばれました。

3. 地域住民とのつながりについて（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	公園の清掃に参加してもまとまりがなく、リーダーがいなく感じる。お互いの声かけを意識しながらやらなくてはと思う。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	近年ある子ども食堂。NPO の発信の場所が不足。地域掲示板の開放をより広くしてほしい。お寺とか教会で子ども向け広場をひらいておりそこも市の（地域の）場として拾ってほしい。民間との共働をはかってほしい。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	公園の清掃に参加してもまとまりがなく、リーダーがいないと感じる。お互いの声かけを意識しながらやらなくてはと思う。

5. 今自分がやれることがない（0件）

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	今は外国人も多く住んでいるのだから、日本語だけではなく外国語も必要ではないか。個人情報も今は問題になっている。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	どこへ相談すればケアを受けられるのか示すようにすべきと思う。

8. 取組への期待について（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	健康管理は個人の問題。他人に知られたくない個人情報もあるので交流は不要。しっかり専門分野である病院に行くべき。
2	35～39 歳	このアンケートを通して、地域福祉について考えるきっかけになりました。川崎市は全国各地から転居されてくる方が多く、比較的若い世代が多いように感じます。若い世代は SNS を利用して情報を得ている方も多いようです。あまりインターネットを利用、活用しない先輩の方と若い世帯をつなぐシステムや比較的地域での活動に参加しやすい子育て世帯からの意識向上に向けた取り組みが有効ではないかと思います。
3	35～39 歳	子育て世代や高齢者、障害のある方は特に何かあったときに手助けが必要だと思われるので近くに助けを求めることができるキーパーソンがいるのか確認する必要があると思う。近所づきあいも大切だと思うが、人に介入されたり人と関わる事に抵抗がある人もいると思うので市や区の担当者が必要だと思います。
4	45～49 歳	市民ボランティアに責任ある役割を求めるのは無理であるし、あくまでもボランティアはボランティアの範囲で自主的にやる程度。いつ始めてもいつ辞めても良いのがボランティアで、市民としては報酬を支払っても責任ある人に責任ある仕事をしてもらったほうが安心である。超高齢化社会に向けて、行政が責任転嫁しているように見えるのは、単なるイメージで理解不足なのかもしれないが、市民ボランティアに責任を課すことまでできないのではないかと思います。
5	65～69 歳	好ましい事なのでぜひ積極的に推し進めて欲しいと思います。

9. 守秘義務について（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	健康管理は個人の問題。他人に知られたくない個人情報もあるので交流は不要。しっかり専門分野である病院に行くべき。

10. 相談窓口について（0件）

11. 多世代や異属性間での交流について（0件）

12. 地域防犯・防災について（0件）

13. サービスや手続きについて（0件）

14. 医療について（0件）

15. その他（7件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	詳細が不明のため回答不可。
2	30～34 歳	申し訳ないのですが、持病があり自身の健康管理と育児・家事などで手一杯になっている。そのため支え合いについての活動はできない状態です。
3	40～44 歳	介護について介護される人はもちろんの事、介護する人の事もすごく考えてほしい。ここで言う介護は一日自宅、施設から帰ってきてからです。
4	45～49 歳	よく分からない。具体例がほしい。
5	45～49 歳	システムとしているが、能動的な取組を求めているように見えて、システムになりえない感じがする。意識をしなくても循環するようなシステムが理想。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	役所に行けば近くにあって車イスをゆずっていただいてありがたく一人暮らしの人を車椅子に乗せて喜ばれました。
2	75 歳以上	ボランティアについて、好きでやっている程度に思っているだろうが、終わった後高齢者が昔を思い出し涙する姿にやめられない自分 10kg 程あるリュックを背負い向かう姿に 92 才を忘れた。オバケの別名をもらう高齢者です。病気はした事は全くない吾に万歳。明治大正昭和平成の唄が友を呼んでいる事と思う。

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	11
2. 市への意見	18
3. 地域住民とのつながりについて	6
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	3
5. 今自分がやれることはない	0
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	2
8. 取組への期待について	11
9. 守秘義務について	3
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	0
13. 医療について	0
14. その他	10

1. 取組の周知について（11件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	市民1人1人が、各々の役割を簡単に認識できるようにしてほしい。取組について「調べる」ことをしないと分からないから、幅広い年代の多くの人に認知されていないと思う。
2	35～39歳	このアンケートを通して、地域福祉について考えるきっかけになりました。川崎市は全国各地から転居されてくる方が多く、比較的若い世代が多いように感じます。若い世代はSNSを利用して情報を得ている方も多いようです（他2件）。
3	45～49歳	いろんな活動があるようだが高齢者の孤独死、子どもの虐待のニュースなどは増えるばかりです。様々な計画があるならそれなりに成果を上げていかないと悲しいニュースも減らないし税金の無駄使いと思われるだけになりかねない。
4	50～54歳	できるだけ早く、システムを構築し、運用を進めて存続意義を高めていき広く地域に周知させることが必要と考えます。
5	50～54歳	もっと大々的に市報や町内回覧板に記事をのせてほしい。
6	55～59歳	まだ自分がその立場にない為、知らない事もあるので年一回程度で個人家族がもし病気、ケガ、事故にあった場合の流れ（届け出）とかどこにまず相談に行ったらよいかなどのパンフレットの配布があれば意識も高まると思います。
7	60～64歳	具体的な仕組み、法的関係が見えない（他2件）。

2. 市への意見（18件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	詳細が不明のため回答不可。
2	35～39 歳	近所づきあいも大切だと思うが、人に介入されたり人と関わる事に抵抗がある人もいると思うので市や区の担当者が必要だと思います（他2件）。
3	45～49 歳	具体例がほしい（他2件）。
4	45～49 歳	従事する人達の給与をUPすべき（他2件）。
5	70～74 歳	問 45-1 で4「行ってないし関心もない」人をいかに問 45-1 の1～3の人にするかが問題（課題）である。
6	75 歳以上	堀川町在住。地域包括センターがどこにあるのか場所電話番号を知りたい。川崎市は、高齢者に対してどういう福祉援助があるのか、川崎市は福祉に欠けていると思う。高齢者の行える体操教室。文化的にも遅れている住みにくい町。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	近年ある子ども食堂。NPO の発信の場所が不足。地域掲示板の開放をより広くしてほしい。お寺とか教会で子ども向け広場を開いておりそこも市の（地域の）場として拾ってほしい。民間との共働をはかってほしい。
2	65～69 歳	包括ケアシステムについては、今まで知りませんでした。今回のアンケートで何となく、ですが近所で話し合いたいと思います。支え合うことの大切さ、大事ですね。
3	70～74 歳	良く理解していません。
4	70～74 歳	役所に行けば近くにある（他2件）。

3. 地域住民とのつながりについて（6件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	お互いの声かけを意識しながらやらなくてはと思う（他2件）。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	近年ある子ども食堂。NPO の発信の場所が不足（他2件）。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	お互いの声かけを意識しながらやらなくてはと思う（他2件）。

5. 今自分がやれることがない（0件）

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	今は外国人も多く住んでいるのだから日本語だけではなく、外国人にも伝わる方法も必要だし個人情報も今は問題になっているし。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	今時の高齢者の方というのは昔と違い、出来る限り自分でやろうとしますし気持ちの若い方も多いですから、下手に年寄り扱いをして手助けの度を越えても不快になる方も少なくありません。又、若い世帯は引っ越しも多く、地域に慣れるまで時間がかかりますし、忙しくてボランティアや地域活動に参加出来ない。したくない。そういう方も見受けられます。密な交流も双方の方向性の違いが出るでしょう。（難しい）ですから「(日々) 地域で (交流し) ケアシステムを作る」というより「互いにプライバシーを保ち、困った時は助け合える」そういう社会になることが今の時代には合っているように思います。それを川崎市が手助けするような取組があれば良いのではと思います。

8. 取組への期待について（11件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	しっかり専門分野である病院に行くべき（他2件）。
2	35～39 歳	若い世代は SNS を利用して情報を得ている方も多いようです。あまりインターネットを利用、活用しない先輩の方と若い世帯をつなぐシステムや比較的地域での活動に参加しやすい子育て世帯からの意識向上に向けた取り組みが有効ではないかと思います（他2件）。
3	35～39 歳	近所づきあいも大切だと思うが、人に介入されたり人と関わる事に抵抗がある人もいると思うので市や区の担当者が必要だと思う（他2件）。
4	45～49 歳	市民ボランティアに責任ある役割を求めるのは無理であるし、あくまでもボランティアはボランティアの範囲で自主的にやる程度。いつ始めてもいつ辞めても良いのがボランティアで、市民としては報酬を支払っても責任ある人に責任ある仕事をしてもらったほうが安心である。超高齢化社会に向けて、行政が責任転嫁しているように見えるのは、単なるイメージで理解不足なのかもしれないが、市民ボランティアに責任を課すことまでできないのではないかと思う。
5	65～69 歳	好ましい事なのでぜひ積極的に推し進めて欲しいと思います。

9. 守秘義務について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	健康管理は個人の問題。他人に知られたくない個人情報もあるので交流は不要（他2件）。

10. 相談窓口について（0件）

11. 地域防犯・防災について（0件）

12. サービスや手続きについて（0件）

13. 医療について（0件）

14. その他（10件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	詳細が不明のため回答不可。
2	30～34 歳	申し訳ないのですが、持病があり自身の健康管理と育児・家事などで手一杯になっている。そのため支え合いについての活動はできない状態です。
3	35～39 歳	子育て世代や高齢者、障害のある方は特に何かあったときに手助けが必要だと思われるので近くに助けを求めることができるキーパーソンがいるのか確認する必要があると思う。近所づきあいも大切だと思うが、人に介入されたり人と関わる事に抵抗がある人もいると思うので市や区の担当者が必要だと思います。
4	40～44 歳	介護について介護される人はもちろんの事、介護する人の事もすごく考えてほしい。ここで言う介護は一日自宅、施設から帰ってきてからです。
5	45～49 歳	従事する人達の給与を UP すべき。大切な仕事なのに PAY が少なく人員も少ない。自分が転職してもいいと思う位だが生活が成り立たない。手取り額だと感じた。
6	45～49 歳	具体例がほしい（他2件）。
7	45～49 歳	システムとしているが、能動的な取組を求めているように見えて、システムになりえない感じがする。意識をしなくても循環するようなシステムが理想。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	ボランティアについて、好きでやっている程度に思っているだろうが、終わった後高齢者が昔を思い出して涙する姿にやめられない自分 10kg 程あるリュックを背負い向かう姿に 92 才を忘れた。オバケの別名をもらう高齢者です。病気はした事は全くない吾に万歳。明治大正昭和平成の唄が友を呼んでいる事と思う。

資料

アンケート調査票

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第5期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第5期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の20歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月20日（金）まで**にポストに投函してください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母	5. 兄弟姉妹	9. いない(一人暮らし)
2. 父	6. 子	10. その他
3. 母	7. 孫	()
4. 配偶者	8. その他親族	

問8 一緒に暮らしているご家族(あなたを含む)のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族の中に65歳以上の方がいる
2. 家族の中に介護認定を受けている方がいる
3. 家族の中に障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる
4. 家族の中に小学校就学前の子どもがいる
5. 家族の中に小学生の子どもがいる
6. 家族の中に中学生以上の18歳未満の子どもがいる
7. いずれにも該当する家族がいない

問9 就業の状況はどれに該当しますか。(ア及びイまたはウそれぞれ1つに○)

ア 就業状況

1. 就業している
2. 就業していない

イ 就業形態

1. 常勤・フルタイム
2. パート・アルバイト(通勤あり)
3. パート・アルバイト(通勤なし、内職等)
4. その他()

ウ 就業していない理由

1. 家事専業等	3. 学 生
2. 定年退職者	4. その他()

問10 あなたの健康状態は、いかがですか。(1つに○)

1. 非常に健康
2. ほぼ健康
3. あまり健康でない
4. 健康でない

問11 あなたは現在、健康上の問題で6か月以上の期間にわたり、日常生活に何か影響がありますか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. ある (→問11-1へ進む)2. ない |
|---|

《問11-1は、問11で「1. ある」とお答えの方におたずねします》

問11-1 それはどのようなことに影響がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)に影響がある2. 外出(時間や作業量などが制限される)に影響がある3. 仕事、家事(時間や作業量が制限される)に影響がある4. 運動(スポーツを含む)に影響がある5. その他() |
|--|

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、平成30年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせる ふるさとづくり」を基本理念とする『第5期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取り組みと言えます。

問12 あなたは、川崎市に『第5期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 市の計画、区の計画の両方を知っている2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている4. 市の計画も区の計画も知らない (→問13へ進む) |
|---|

《問12-1は、問12で「1」～「3」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問12-1 計画は何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 市政だより | 6. 交流会・ワークショップ |
| 2. 市や区のホームページ | 7. シンポジウム |
| 3. チラシ・パンフレット | 8. 講演・講習会 |
| 4. 市や区の計画での取り組みに参加した | 9. 口コミ(友人・知人や近隣の方からの) |
| 5. 団体等の会合 | 10. その他() |

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

[問13以降は全員の方がお答えください]

問13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 両隣 |
| 2. 向こう三軒両隣程度 |
| 3. 同じ集合住宅(アパート、マンションなど) |
| 4. 歩いて5分(およそ100m)以内程度 |
| 5. 歩いて10分(およそ200m)以内程度 |
| 6. その他() |

問14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 家族のように親しくつきあっている | 4. あいさつをする程度 |
| 2. 家に行き来したり、親しく話をする | 5. ほとんどつきあいが無い |
| 3. ときどき話をする程度 | 6. その他() |

問15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ |
| 2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい |
| 3. 困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない |
| 4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ |
| 5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい |
| 6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日ごろの交流は必要ない |
| 7. その他() |

問16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 加入している | (→ 問17へ進む) |
| 2. 加入していたが、退会した・加入したことはない | (→ 問16-1へ進む) |

《問16-1は、問16で「2. 加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方におたずねします》

問16-1 現在加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 行事に参加できない |
| 2. きっかけがない |
| 3. 特に不便を感じない・必要性を感じない |
| 4. 集合住宅の管理組合に加入している |
| 5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない |
| 6. 地域のつきあいがわずらわしい |
| 7. 会費に見合うメリットがない |
| 8. 加入の仕方がわからない |
| 9. 面倒だから |
| 10. 関心がない |
| 11. その他 () |

[問17以降は全員の方がお答えください]

問17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 隣近所程度 | 4. 中学校区程度 | 7. それ以上 |
| 2. 町内会・自治会程度 | 5. お住まいの区内程度 | 8. その他 |
| 3. 小学校区程度 | 6. 川崎市内程度 | () |

問18 あなたは、その「地域」において、いま何が問題だと感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する問題(ストレス、食育、生活習慣病など)
2. 高齢者に関する問題(介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど)
3. 障害児・者に関する問題(地域生活支援、権利擁護、活動支援、障害に対する理解など)
4. 子どもに関する問題(育児不安、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど)
5. 地域防犯・防災に関する問題(交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など)
6. 地域のつながりに関する問題(近所づきあい、人と人との関係が希薄など)
7. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題
9. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題
10. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない(足りない)という問題
11. その他()
12. 特に問題だと感じていることはない(→ 問19へ進む)

《問18-1は、問18で「1」～「11」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問18-1 その問題は、具体的にどのようなことですか。事例などがあれば教えてください。

.....

[問19以降は全員の方がお答えください]

問19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない
2. 介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない
3. 経済的に生活できるか不安である
4. 病気になったときに頼れる人が身近にいない
5. 子育てがうまくできるか不安である
6. その他()

問20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他 ()
9. 特に何も必要だとは思わない

問21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 同居している家族 | 8. 地域包括支援センター等専門相談機関 |
| 2. 友人・知人 | 9. 民生委員児童委員 |
| 3. 離れて暮らしている家族 | 10. 社会福祉協議会 |
| 4. 区役所地域みまもり支援センターの職員 | 11. 民間の相談機関(電話相談を含む) |
| 5. かかりつけの医療機関 | 12. インターネット |
| 6. 近所の人 | 13. その他 () |
| 7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員 | 14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない |
| | 15. 相談する人がいない |

問22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる (→ 問22-1へ進む) | 2. いない (→ 問23へ進む) |
|--------------------|-------------------|

《問22-1、問22-2は、問22で「1. いる」とお答えの方におたずねします》

問22-1 何人くらいいますか。

人

問22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

[問23以降は全員の方がお答えください]

問23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。(3つまでに○)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 親 族 | 8. 区役所・市役所 |
| 2. 友人・知人 | 9. 地域の医療機関 |
| 3. 近所の人 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 4. 民生委員児童委員 | 11. その他() |
| 5. 社会福祉協議会 | 12. 誰もいない |
| 6. 地域の活動団体 | 13. 頼みたくない |
| 7. NPO等の民間団体 | |

問24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(3つまでに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 8. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 9. 災害時の手助け |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 10. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 11. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 12. その他() |
| 6. ちょっとした買物 | 13. 特にない |
| 7. 子どもの預かり | |

問25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 8. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 9. 災害時の手助け |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 10. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 11. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 12. その他() |
| 6. ちょっとした買物 | 13. 特にない |
| 7. 子どもの預かり | |

問26 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない

問27 現在のあなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要となった場合に、病院には入院せず在宅で療養することは可能ですか。(1つに○)

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他 ()

問28 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いませんか。(1つに○)

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他 ()

問29 近年、誰にも気づかれずに死亡し、しばらくして発見されるという孤立死が社会問題と
なっています。孤立死が生じる原因として、どれが大きな問題だと思いますか。(あてはま
るものすべてに○)

1. 経済的に困窮している(お金がない)こと
2. 福祉や見守りなど行政の対応が不十分なこと
3. 地域の見守り体制が弱体化してきたこと
4. 一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えていること
5. 本人が引きこもりがちな性格であること
6. 隣近所のつきあいが少なくなっていること
7. 家庭内のことに、他人が立ち入りにくいこと
8. 医療や介護が必要な高齢者が増加していること
9. その他()
10. 特に問題はない
11. わからない

問30 孤立死を防ぐために、どのようなことが有効だと思いますか。特に有効だと思うものを
5つまで選んで○をつけてください。(5つまでに○)

1. 地域住民による声かけ、見守り
2. 新聞・郵便配達等、民間の協力による情報共有
3. 民生委員児童委員による訪問、見守り
4. 水道、ガス、電気の利用に関する情報共有
5. 消防・警察・ごみ収集等、公的機関による確認
6. 定期的な電話や傾聴訪問等の話し相手
7. 地域で気軽に集えるサロン活動
8. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
9. 配食等生活支援サービスを活用した見守り
10. 本人からの危険危機の通報
11. 機器による緊急通報システム
12. 介護保険等の各種福祉サービス事業所と連携した緊急時連絡網
13. その他()
14. 特にない
15. わからない

《問31-2～問30-5は、問31で「14」とお答えの方におたずねします》

問31-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 健康づくりに関する活動 | 8. お祭りやイベントに関する活動 |
| 2. 高齢者に関する活動 | 9. 地域安全に関する活動 |
| 3. 障害児・者に関する活動 | 10. 環境美化(ゴミ拾いなどを含む)に関する活動 |
| 4. 子育てに関する活動 | 11. 文化・芸術に関する活動 |
| 5. 医療に関する活動 | 12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動 |
| 6. 町内会・自治会に関する活動 | 13. その他() |
| 7. 社会福祉協議会に関する活動 | 14. 具体的にはわからない |

問31-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

----- -----

問31-4 参加される場合、活動可能な日はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 3. 月2～3回 | 5. 月1回未満 |
| 2. 週1～2回 | 4. 月1回 | |

問31-5 参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 平日日中(10時～17時)2時間以内 | 5. 休日日中2時間以内 |
| 2. 平日日中4時間以内 | 6. 休日日中4時間以内 |
| 3. 平日日中6時間以内 | 7. 休日日中6時間以内 |
| 4. 平日夜間(17時～20時) | 8. 休日夜間(17時～20時) |

《問31-6～問31-7は、問31で「15」とお答えの方におたずねします》

問31-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない | 8. 一度はじめると拘束されてしまう |
| 2. きっかけがつかめない | 9. 行政や事業者が行えばよい |
| 3. 身近に活動グループや仲間がいない(知らない) | 10. 人と接するのが苦手 |
| 4. 健康に自信がない | 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
| 5. 家族や職場の理解が得られない | 12. その他() |
| 6. 興味を持てる活動がない | 13. 特に理由はない |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる | |

問31-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

1. 活動する時間ができれば	6. 興味を持てる活動があれば
2. きっかけがあれば	7. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば
3. 身近に活動グループや仲間がいれば	8. その他()
4. 体力や健康に自信があれば	9. 地域活動やボランティア活動はしたくない
5. 家族や職場の理解が得られれば	

【保健・福祉に関することについておたずねします】

[問32以降は全員の方がお答えください]

問32 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。(ア～チの団体・施設等について1・2のいずれか1つに○)

ア. 社会福祉協議会	1. 知っている	2. 知らない
イ. 民生委員児童委員	1. 知っている	2. 知らない
ウ. 区役所地域みまもり支援センター (福祉事務所・保健所支所)	1. 知っている	2. 知らない
エ. 地域包括支援センター	1. 知っている	2. 知らない
オ. 老人クラブ	1. 知っている	2. 知らない
カ. いきいきセンター(老人福祉センター)	1. 知っている	2. 知らない
キ. いこいの家(老人いこいの家)	1. 知っている	2. 知らない
ク. 障害者相談支援センター	1. 知っている	2. 知らない
ケ. 地域療育センター	1. 知っている	2. 知らない
コ. 地域リハビリテーションセンター	1. 知っている	2. 知らない
サ. 聴覚障害者情報文化センター	1. 知っている	2. 知らない
シ. 視覚障害者情報文化センター	1. 知っている	2. 知らない
ス. 児童相談所	1. 知っている	2. 知らない
セ. 地域子育て支援センター	1. 知っている	2. 知らない
ソ. こども文化センター	1. 知っている	2. 知らない
タ. 福祉パル(区社会福祉協議会)	1. 知っている	2. 知らない
チ. 総合福祉センター(エポックなかはら)	1. 知っている	2. 知らない

問33 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 名前も活動内容も知っている | |
| 2. 名前を知っており、活動内容も少しは知っている | |
| 3. 名前は知っているが、活動内容は知らない | } (→問 34 へ進む) |
| 4. 名前も活動内容も知らない | |

《問33-1は、問33で「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問33-1 あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。(3つまでに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 在宅福祉サービスの充実 | 6. 住民懇談会等の小地域活動の促進 |
| 2. 子育て支援の充実 | 7. NPOやボランティアグループへの支援 |
| 3. ボランティア活動の促進 | 8. 福祉関係団体の活動支援 |
| 4. 各種福祉講座・教室の開催 | 9. その他 () |
| 5. 身近な相談の場としての機能強化 | 10. 特にない |

[問34以降は全員の方がお答えください]

問34 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------|
| 1. 市の広報 | 8. 町内会・自治会の回覧板 |
| 2. インターネットのホームページ | 9. 友人・知人 |
| 3. チラシ・パンフレット | 10. 学 校 |
| 4. 新聞・テレビ | 11. 近 隣 |
| 5. 民生委員児童委員 | 12. 団体等の広報紙等 |
| 6. 社会福祉協議会 | 13. その他 () |
| 7. 区役所地域みまもり支援センター
(福祉事務所・保健所支所) | |

問35 あなたは、ふだんパソコンや携帯電話でインターネットにアクセスしたり、メールのやりとりをどのくらいしていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 3. 週に1日程度 | 5. ほとんどない |
| 2. 週に2～3日程度 | 4. 月に数日程度 | |

【東日本大震災後の意識の変化についておたずねします】

問36 平成23年3月に起きた東日本大震災の後、近年、毎年各地で様々な災害が発生していますが、あなたの意識に変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 防災意識が高まった
2. 節電意識が高まった
3. 家族の絆の大切さを認識した
4. 地域の絆の大切さを認識した
5. 友人等との絆の大切さを認識した
6. 健康意識が高まった
7. 避難場所確保の必要性を感じた
8. 正しい情報を得ることの必要性を感じた
9. その他 ()
10. 特にない

問37 平成23年3月に起きた東日本大震災の後、近年、毎年各地で様々な災害が発生していますが、あなたが新たに始めたり強化したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 建物の補強
3. 家具の固定
4. 停電時の対策
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
7. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
8. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
9. 隣近所の人へのあいさつや声かけ
10. 地域で主体的に防災につながる活動を行った
11. 防災訓練への参加
12. ボランティア活動への参加
13. その他 ()
14. 特にない

問38 東日本大震災から8年が経ちましたが、震災直後と比べて、現在のあなたの意識は変化しましたか。(1つに○)

1. 現在も、震災直後と変わらず防災への備えなどを意識している
2. 震災直後は、防災などへの意識が高まったが、現在は薄れてきている
3. 震災直後は、防災への備えなどを意識していなかったが、現在は意識している
4. 震災直後も現在も、防災などへの備えを特に意識していない
5. その他 ()
6. わからない

問39 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報共有・活用すべき
2. 見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報共有・活用してもよい
3. 見守りや防災・防犯のためであっても、個人情報共有・活用しないほうがよい
4. わからない

問40 あなたは次の情報のうち、『ふだんの見守り活動』のためだとしても、他人に知られたくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 現住所、電話番号 | 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 |
| 2. 会社、学校等の連絡先 | 12. 病歴、身体の障害など |
| 3. 緊急時の親族等の連絡先 | 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 |
| 4. メールアドレス | 14. 介護保険の要介護度 |
| 5. 出生地 | 15. 福祉サービスの利用状況 |
| 6. 生年月日、年齢 | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 7. 血液型 | 17. その他 () |
| 8. 顔写真などの画像 | 18. 特になし |
| 9. 家族構成 | 19. わからない |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | |

問41 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 現住所、電話番号 | 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 |
| 2. 会社、学校等の連絡先 | 12. 病歴、身体の障害など |
| 3. 緊急時の親族等の連絡先 | 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 |
| 4. メールアドレス | 14. 介護保険の要介護度 |
| 5. 出生地 | 15. 福祉サービスの利用状況 |
| 6. 生年月日、年齢 | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 7. 血液型 | 17. その他() |
| 8. 顔写真などの画像 | 18. 特にない |
| 9. 家族構成 | 19. わからない |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問42 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること |
| 2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと |
| 3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること |
| 4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること |
| 5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと |
| 6. その他() |
| 7. 特に取り組むべきことはない |

問43 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握 |
| 2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり |
| 3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成 |
| 4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示 |
| 5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実 |
| 6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供 |
| 7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化 |
| 8. その他() |

問44 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座8. 先進的な取り組み事例が学べる講座9. その他 ()10. 特にない |
|---|

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく手法

問45 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない |
|---|

(→問 45-1 へ進む)

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

第5回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（幸区版）

令和2年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

☎210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp
